

ナースコールシステム

取付工事説明書

工事をなさる方へのお願い

- 中央 / 増設制御装置 ~ 病室アダプター (トイレアダプター・映像伝送アダプター) ~ 病室アダプター (トイレアダプター・映像伝送アダプター) 間は、シールド付きツイストペアケーブル [CPEV-S 0.9-2P] にて配線し、シールド線 (ドレイン線) は、互いに圧着処理にて確実に接続し、中央 / 増設制御装置側ではシールド線接続端子に接続します。
- シールド線接続端子は D 種接地工事が行われていること。D 種接地は専用アース (接地) とし、他の機器の安全アース (接地) とは分離すること。
- AC 電源、コンピュータ、テレックス等の配線と中央 / 増設制御装置からの各種ケーブル (親機との配線、病室アダプターとの配線、等) は 30cm 以上離して配線してください。同一配管内で通線すると、機器へ障害を与えます。
- 中央 / 増設制御装置と病室アダプター間を誤配線すると病室アダプターが瞬時に破壊されます。十分に配線を確認した後、制御装置の電源を入れてください。
(制御装置の +、- 間にテスターを接続し、導通している場合は、配線誤りの病室アダプターがあります。(テスターの +、- を入れ替えどちらも導通している場合))
- プログラム設定は中央制御装置と親機毎に行う必要があります。
- 本書は、仕様の変更、および経歴、定期点検、増改築工事等の際に必要なため保管願います。

目 次



工事作業安全上のご注意	2
付属品について	7
工事完了後のお願い / 点検・サービス時のお願い	9
1. 機器構成	10
2. システム構成図	11
3. システム系統図および配線系統図	12
4. 配線距離と使用する線材について	13
5. 同一シース（被覆）可 / 不可について	14
6. 別システム間の配線について	15
① 中央制御装置 VH-M101、増設制御装置 VH-M102	16
1. 取付方法	16
2. 各種ユニットおよび端子配置について	19
3. プログラム表の作成と登録	20
プログラムボードの準備	20
プログラム表とプログラムボードの関連	21
イニシャルセット（初期設定）の方法...出荷時状態（初期値）	22
プログラム設定方法	23
プログラム番号と設定内容説明	24
② 1LC/2LC カード VH-M981/M982	37
③ PBX カード VH-M986	38
④ ボード形親機（ボード形通話ユニット VH-M483 + ボード形選局ユニット VH-M203(最大 6 台)）	39
1. ボード形親機取付方法	39
⑤ 卓上形親機（ナースコール通話機 VH-M482 + 卓上形選局ユニット VH-M202(最大 6 台)）	42
1. 卓上形親機接続方法	42
⑥ ボード形通話ユニット、パソコン連動通話機およびナースコール通話機の プログラム設定方法（親機番号、表示位置設定）	44
1. 電池スイッチについて	44
2. プログラム設定モードへの入り方	44
3. 親機番号の設定・変更方法	44
4. 表示位置の設定方法（ベッド番号に該当する選局ユニットの表示位置を設定する）	45
5. RS-232C の接続方法（パソコン連動通話機等 RS-232C 端子を使用する場合に設定する）	46
6. 連動カメラの伝送設定方法（親機に連動するカメラの映像伝送方法を設定する）	46
7. 連動モニターテレビの表示設定方法（親機と副親機で映像表示の優先順位を設定する）	47
8. 呼出パターンの設定方法（チームごとのグループ番号を設定する）	47
9. 設定内容の全消去方法（設定を最初からやり直す場合）	49
⑦ ボード形選局ユニット、および卓上形選局ユニットの番号設定方法 （ダイヤルスイッチ）	50
⑧ ボード形通話ユニット、またはナースコール通話機と中央制御装置の接続方法	51
⑨ システム診断方法	52
⑩ アダプターの取付	54
1. 取付方法	54
2. 機器間の配線（例：ベッド管理）	56
3. 機器間の配線（例：ルーム管理で呼出しは個別の場合）	57
4. 機器間の配線（例：トイレアダプター）	58
5. 機械間の配線（例：病室アダプタートイレ表示付き）	59
6. 機器間の配線（例：センサー接続時）	60
7. 機器間の配線（例：映像伝送アダプター：連動）	61
8. 機器間の配線（例：映像伝送アダプター：単独）	62
9. 端子記号と個別表示灯の位置関係	63
10. アダプター番号、脱落警報停止、ベッド / ルーム管理 および通話後の自動復帰の設定方法	64
11. 配線工事完了時の点検方法と判断方法	65
12. 露出取付方法	66

工事作業安全上のご注意




必ずお守りください

工事作業時の事故防止と、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った工事作業をしたときに生じる危害や、損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。






 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵で区分し説明しています。(下記は、絵表示の一例です。)

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。
	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

警告

AC100V電源接続について

<p>電源はAC100Vを使用する。</p> <p> 指定以外の電圧や電源で使用すると、火災や感電の原因となります。</p> <p>電源配線工事には、電気工事士の資格が必要です。販売店に相談してください。</p>	<p>電源電圧(AC100V)直結端子の所に指定以外の電圧(例AC200V)を接続しない。</p> <p> 指定以外の電圧や電源で使用すると、火災や感電の原因となります。</p> <p>禁止</p> <p>電源配線工事には、電気工事士の資格が必要です。販売店に相談してください。</p>	<p>中央制御装置内部の電源ユニットに触れると感電の恐れがあります。</p> <p> また、電源ユニットは、通電中非常に高熱になりますので、電源を「OFF」にした直後も注意してください。</p>
<p>指定以外の端子に電源(AC100V)を接続しない。</p> <p> ショートして火災や感電の原因となります。</p> <p>禁止</p>	<p>たこ足配線はしない。</p> <p> 過熱してショートや火災の原因となります。</p> <p>禁止</p>	

警告

配線工事について

電源コードの上に重い物を乗せたり傷をつけたり、無理に曲げたり引っ張ったりしない。



禁止

ショートして火災や感電の原因となります。

コードが損傷した場合は、ただちに電源プラグを抜いて、販売店に相談してください。

電源(AC100V)を入れたまま配線工事をしない。



禁止

感電や故障の原因となります。

電源配線工事には、電気工事士の資格が必要です。販売店に相談してください。

床上配線でふまれる恐れのある場合は、ワイヤープロテクターで保護する。



ショートし火災、故障の原因となります。

屋外配線は、雷サージ保護の保護器を使用する。



雷によって周囲破損や火災の原因となります。

専用アースを取付ける。(D種接地 100以下)



故障や漏電のときに感電の原因となります。

ガス管や水道管、電話や避雷針のアース線に接続しないでください。(法令で禁止されています)
取付けは販売店にご相談ください。

雷のときは架空配線工事をしない。



禁止

雷によって感電や火災の原因となります。

付属品または専用品以外を接続しない。



禁止

指定品以外の機器を使用すると火災や感電の原因となります。





誤配線やショート等がないことを確認してから AC100V を接続してください。



感電や火災の原因となります。





警告

機器の設置について

<p>据置設置時、指定の固定方法で据置する。</p> <p> ゆるみやはずれで転倒し、事故の原因となることがあります。</p>	<p>壁取付時、重量に耐える指定の取付方法で取付ける。</p> <p> ゆるみやはずれで落下し、事故の原因となることがあります。</p>
<p>高所設置(2m以上)の取付時、必ず安全装置を使用する。</p> <p> 落下によりけがの原因となります。</p>	<p>放熱のための通気孔はふさがない。</p> <p> 内部に熱がこもり、火災の原因となります。</p> <p>禁止</p> <p>周囲30cm以内に物を置かないでください。</p>

警告

電池その他について

<p>充電、ショート、分解、変形、加熱、火に入れるなどしないでください。</p> <p> この電池は、リチウム、有機溶媒など可燃性物質を内蔵しており、発火、発熱、破裂の原因となります。</p> <p>禁止</p>	<p>電池は幼児の手の届かない所に置いてください。</p> <p> 万一飲み込んだ場合には、直ちに医師と相談してください。</p>
<p>電池は+と-を正しく入れる。</p> <p> 電池の発熱や液漏れにより、火災やけが、周囲汚損の原因となります。</p>	<p>指定以外の電池を使ったり違う種類の電池を使用しない。</p> <p> 電池の発熱や液漏れにより、火災やけが、周囲汚損の原因となります。</p> <p>禁止</p>

⚠ 警告

指定以外のヒューズは使用しない。



指定以外のヒューズを使うと火災の原因となります。

禁止

電源配線工事には、電気工事士の資格が必要です。販売店に相談してください。

接続を行うとき以外は、本体をあけたり、分解・改造しない。



感電や火災の原因となります。

分解禁止

内部の点検や修理などは、販売店に相談してください。

⚠ 注意

機器の設置場所について

浴室などの湿気の多い場所やホコリの多いところに置かない。



火災や感電の原因となります。

禁止

直射日光、暖房設備、ボイラーなどの特に温度の上がる場所に置かない。



機器表面が変形・劣化するほか、故障の原因となります。

室内温度:0 ~ 40 以内(非結露)にて使用してください。

禁止

水や薬品のかかる場所に置かない。



感電や火災の原因となります。

禁止

振動・衝撃のある場所に置かない。



破損や故障の原因となります。

禁止

不安定な場所に置かない。



バランスがくずれて倒れ、事故の原因となります。

禁止

硫化水素、リン、アンモニア、硫酸、炭素酸、塵埃、有害ガス等の発生する場所に置かない。



機構および接点部に悪影響を与えるほか故障の原因となります。

禁止

⚠ 注意

機器の設置場所について

磁石などの磁気を帯びたものの近くに置かない。



禁止

雑音の発生や故障の原因となります。また、映像のある機器では、画像のみだれなどの原因となります。

高周波ミシン、電気溶接機など電磁波発生源のある場所に置かない。



禁止

電磁波の輻射ノイズにより、故障や誤操作の原因となります。

付属品について

付属品リスト

1. VH-M101

雑音防止コア	5	セットドライバー	2
5A ヒューズ	2	取付工事説明書	2
小ネジ 4X25mm	4	保証書	1
木ネジ 4X16mm	4		

2. VH-M986

2A ヒューズ	1
---------------	---

3. VH-M481/M482

小ネジ 4X25mm	2	コードクランパー	1
木ネジ 4X16mm	2	取扱説明書	1

4. VH-M202

小ネジ 3X10mm	4	モジュラーコード	1
連結金具	1		

5. VH-M483

小ネジ 4X25mm	4	小ネジ 3X10mm	4
木ネジ 4X16mm	4	取扱説明書	1
雑音防止コア	2	取付工事説明書	1

6. VH-M203

小ネジ 4X25mm	4	部屋番号区切板	10
木ネジ 4X16mm	4	メディカルプレート	30
小ネジ 3X10mm	4	モジュラーコード	1
記名カード	20		

7. VH-R680/1 ~ 6、VH-R680T/1 ~ 6、VH-R681

木ネジ 4X16mm	5	線付コネクタ (8ピン)	1
小ネジ 4X25mm	4	(VH-R680/4, 6 VH-R680T/4, 6のみ)	
補強金具	2	取付工事説明書	1
線付コネクタ (2ピン)	1		
線付コネクタ (5ピン)	1		
(VH-R680/1, 2, 3 VH-R681 VH-R680T/1, 2, 3のみ)			

8. VH-M102

雑音防止コア	5	木ネジ 4X16mm	4
5A ヒューズ	2	セットドライバー	2
小ネジ 4X25mm	4		

9. VH-R900D

木ネジ 4X16mm	2	セットドライバー	1
小ネジ 4X25mm	2	小ネジ 3X8mm	1
壁掛け用品	1	取付工事説明書	1
クランパー	1	保証書	1

10. VH-R901D

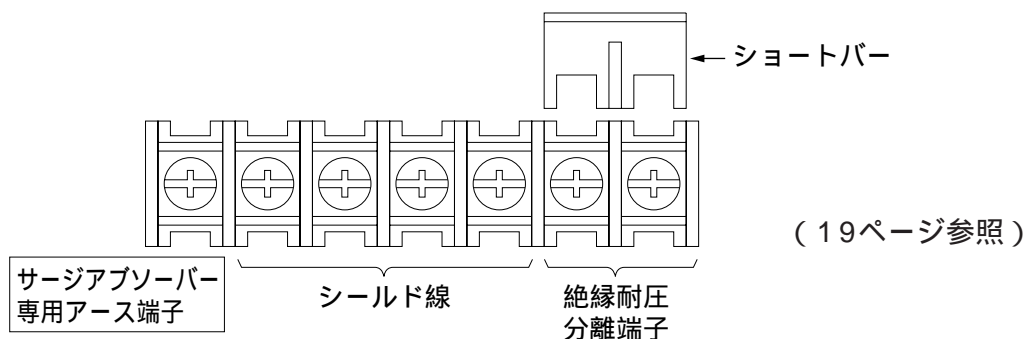
小ネジ 3X8mm (ワッシャ付)	1	取付工事説明書	1
-------------------------	---	---------------	---

工事完了後のお願い

- 1 誤配線やショート等がないことを確認してからAC電源を接続してください。
- 2 ナースコール親機に付属の取扱説明書にもとづいて、動作確認をしてください。
- 3 工事が完了したら、必ず次の内容をお客様へ説明してください。
 - ・中央制御装置の停電用電池は7年に1回交換する必要があります。
(中央制御装置のAC100Vが切断された状態、もしくは中央制御装置のAC電源SWを切りとした状態で放置した場合は約6ヶ月以内に寿命となることがあります。)
 - ・移設などで中央制御装置を移動する場合は、勝手に移動させないでください。
 - ・その他、取扱いの禁止事項や注意事項の徹底をお願いします。
 - ・万一故障が発生した場合の連絡先の徹底をお願いします。

点検・サービス時のお願い

- 1 中央制御装置の各カードの取付け / 取外しは、必ずAC電源スイッチを「OFF」にして約5秒以上経過後に行ってください。中央制御装置内部の電源ユニットに触れると感電の恐れがあります。また、電源ユニットは通電中高温になりますので「OFF」にした直後は十分気をつけてください。
- 2 各ユニット内の電子部品 (IC、マイコン等) や導電部には直接手で触れないでください。静電破壊防止のため、点検・サービス時は、静電バンドを手首に装着し、リード線を中央制御装置のアース端子に接続してください。(静電破壊防止)
- 3 電力会社で絶縁抵抗試験 (500Vメガテスト) および耐電圧試験 (AC1kV) を行う時は、中央制御装置の電源ユニットに接続されている落雷対策用ZNRの漏れ電流により不良と見誤ることがありますので、シールド線接続端子横の絶縁耐圧分離端子間のショートバーをはずしてから試験を行ってください。(試験後は元の位置にショートバーを取付けてください。)



1. 機器構成

(注) 病室アダプターやトイレアダプターについてはそれらに付属の工事説明書を参照願います。

(1) 機器構成

	品名	品番	台数	備考	
共用部	中央制御装置	VH-M101	1台	1LCもしくは2LCが必ず必要	
	1LCカード 2LCカード PBXカード	いずれかを選択 (注1)	VH-M981	1枚	1系統最大60アダプター
			VH-M982		1系統最大60×2系統=120アダプター
		VH-M986	1枚	最大3通話路	
	増設制御装置	VH-M102	1台	60アダプターを超える場合に必要	
	パソコン連動通話機	VH-M481	他親機と合計して最大5台	卓上形選局ユニットは接続不可	
	卓上形親機	ナースコール通話機	VH-M482	ボード形親機と合計して最大3台	単独設置であれば最大5台
		卓上形選局ユニット(最大6台)	VH-M202(20床用)		最大120床
	ボード形親機	ボード形通話ユニット	VH-M483	卓上形親機と合計して最大3台	最大120床
		ボード形選局ユニット(最大6台)	VH-M203(20床用)		
副親機	VH-M280D	各親機に最大2台			
病室側	病室アダプター	VH-R680/1～6	1系統に最大60台 (1分岐に最大20台)		
	トイレアダプター	VH-R681			
	病室アダプタートイレ表示付	VH-R680T/1～6			
	映像伝送アダプター	VH-R900D			
	映像受信カード	VH-R901D	VH-R900D1台につき1台	映像受信時にVH-R900Dに装着	
病室アダプターまたはトイレアダプター接続機器	ハンド子機	VH-R560	必要数	呼出握りボタン付き	
		VH-R560C		呼出握りボタンが必要	
	ユニット子機	VH-C551		呼出握りボタンが必要(緊急呼出ボタン付)	
		VH-C551K			
		VH-C552			
	呼出握りボタンプレート	VH-C886		ハンド子機 / 握り押ボタン接続用	
		VH-C886K		ハンド子機接続用(緊急呼出ボタン付)	
		VH-C5118		ハンド子機接続用(ハンド子機引掛金具付き)	
	角形廊下灯	VH-C807D		従来品とは互換性なし(有極性タイプ)	
	丸形廊下灯	VH-C880D		従来品とは互換性なし(有極性タイプ)	
	天井付角形子機	VH-555			
	天井付丸形子機	VH-557			
	天井マイク	VH-R578			
	壁埋込マイク	VH-C579		呼出握りボタンが必要	
	ハンドマイク	VH-571		呼出握りボタンが必要	
	呼出握りボタン	VH-804M		メタコン式、コード長2m	
		VH-5776X5		メタコン式、コード長1.6m	
	マイクプレート	VH-C871M		ハンドマイクと呼出し握りボタンを接続	
	息吹式スイッチ	VH-5776X3			
	機能障害者用押しボタン	VH-5667X			
浴室用天井吊下げスイッチ	VH-5411X				
保持ユニット	VH-C513L				
他	中央 / 増設制御装置用床置金具	VB-D241	コミュニケーションシステム(事製)		

(注1) 2LCカードを実装する場合、別途増設制御装置(VH-M102)が必要です。

4. 配線距離と使用する線材について

(1) 配線距離

	配線箇所	配線距離	ループ抵抗	線種	備考	
共用部	中央制御装置 ~	病室アダプター(1分岐)	200m 以内	12 以内	CPEV-S 0.9 2P	中央制御装置 ~ 病室アダプター間の系統 / 分岐の定義 中央制御装置「1系統」 ┌ 1分岐 ├ 1分岐 └ 1分岐 各分岐の合計配線長は1000m以内のこと
		コードレス主装置	300m 以内	36 以内	CPEV-S 0.65 4P	
			600m 以内		CPEV-S 0.9 4P	
		ナースコール通話機	80m 以内	5 以内	CPEV-S 0.9 5P	
		パソコン連動通話機	80m 以内	5 以内	CPEV-S 0.9 5P	
	ボード形通話ユニット	80m 以内	5 以内	CPEV-S 0.9 5P		
増設制御装置 ~	中央制御装置	100m 以内	6 以内	CPEV-S 0.9 4P	・分岐の定義は上記中央制御装置と同一 ・各分岐の合計配線長は900m以内のこと	
	病室アダプター(1分岐)	200m 以内	12 以内	CPEV-S 0.9 2P		
		親機 ~ 副親機	100m 以内	6 以内		0.9 3C
病室側	病室アダプター トイレアダプター ~ 子機 映像伝送アダプター	150m 以内	9 以内	0.9 2C		

(2) 使用する線材について

- ・正常に動作させるために中央制御装置 ~ 病室アダプター(トイレアダプター・映像伝送アダプター) ~ 病室アダプター(トイレアダプター・映像伝送アダプター)間および中央制御装置 ~ 増設制御装置は必ず指定の電線(CPEV-S ツイストペア線)を使用してください。この際、信号線、電源線をそれぞれツイストペア配線で使用してください。
- ・通話品質を高めるために中央制御装置 ~ ナースコール通話機間、中央制御装置 ~ ボード形通話ユニット間は指定の電線(CPEV-S ツイストペア線)を使用してください。この場合も信号や通話線をそれぞれツイストペア配線で使用してください。
- ・CPEV-S ツイストペア線とよく似た電線でCPEVカッド線があります。この線は使用できませんのでご注意ください。
- ・CPEV-S ツイストペア線は必ず 0.9 をご使用ください。0.65 や 1.2 の線は通信エラーが発生しますのでご使用できません。

(3) 接続端子について(接続端子は速結端子になっています。)

速結端子の結線方法	
<div data-bbox="363 1733 643 1771" data-label="Section-Header"> <h4>線材を挿入する場合</h4> </div> <div data-bbox="236 1792 646 1973" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="236 1870 387 1973" data-label="Text"> <p>速結端子は単線 0.9 用です。</p> </div> <div data-bbox="236 2002 802 2107" data-label="Text"> <p>線材 0.9を9mm被フクをむく 線材を確実に挿入する。(ボタンを押すと挿入が楽になります)</p> </div>	<div data-bbox="1043 1733 1262 1771" data-label="Section-Header"> <h4>線材を抜く場合</h4> </div> <div data-bbox="858 1792 1145 2056" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1139 1805 1447 1910" data-label="Text"> <p>ドライバーの先等でボタンを押し込みながら線材を引き抜く。</p> </div>

5. 同一シース (被覆) 可 / 不可について

中央及び増設制御装置と端末間(病室アダプター等)の2Pについて	
別シース 不可	同一シース 可

中央制御装置－増設制御装置間の4P線も同一シースのみ可

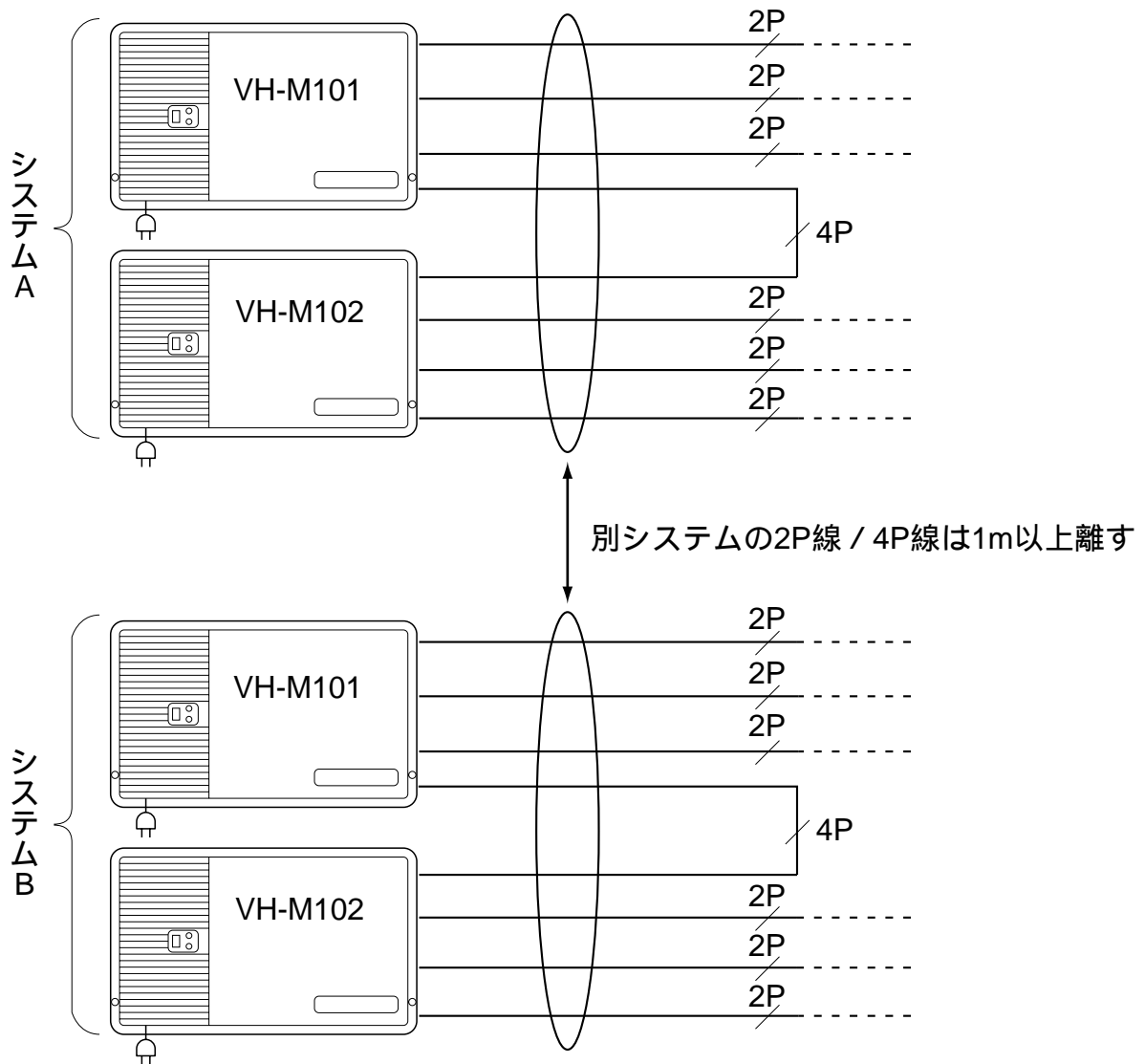
制御装置分岐線の各2P線について	
別シース 可	同一シース 可

中央制御装置の2P線と4P線について	
別シース 可	同一シース 不可

増設制御装置の2P線と4P線について	
別シース 可	同一シース 可

中央制御装置の2P線と増設制御装置の2P線について	
別シース 可	同一シース 不可

6. 別システム間の配線について



1 中央制御装置 VH-M101、増設制御装置 VH-M102

1. 取付方法

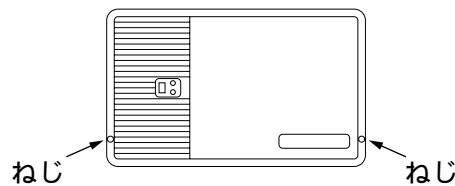
お願い	<ul style="list-style-type: none">・中央制御装置・増設制御装置の周囲30cm四方には、物を置かないでください。周囲30cm以内に物を置くと、放熱効果が妨げられ故障の原因になります。・指定以外の取付けを行った場合、著しく電源寿命が低下する恐れがあります。・平置きは絶対に行わないでください。壁掛けまたは床置き金具を使用してください。 (床置き金具：VB-D241)
-----	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(1) 上カバーの開け方

手順

ねじ2本をはずす。(抜け防止ねじを使用しています。)

上カバーを上を持ち上げてはずす。

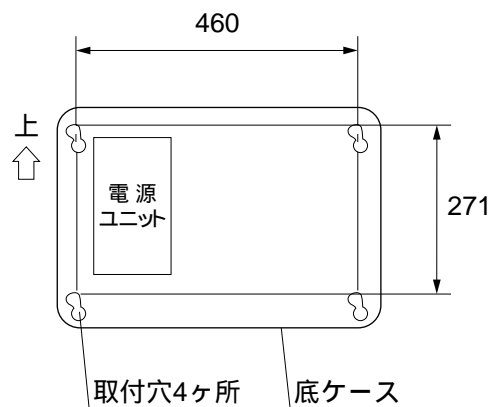


《壁取付方法》

壁取付は必ず下記のように横向き設置としてください。

- ・壁取付用ねじの取付寸法 (単位 : mm)

横向きのみ設置可能 (電源ユニットは左側)



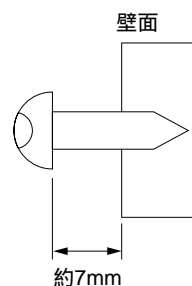
お知らせ	<ul style="list-style-type: none">・中央制御装置包装箱に同梱の寸法型紙をご活用ください。(型紙の収縮があるので、あらかじめ寸法を確認してください。)・電源ユニットが左側となるように必ず設置してください。
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

・取付ねじ（付属品）の固定寸法

取付ねじを壁面より約7mm（下ケース取付のため）浮かして止める。

重量に耐える取付けをしてください。

（内蔵オプションを含む重量：6 kg）



（例：4mm木ねじの場合）

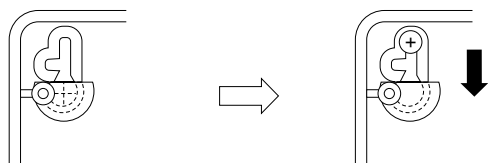
手順

上カバーをはずす（上カバーの開け方を参照）。

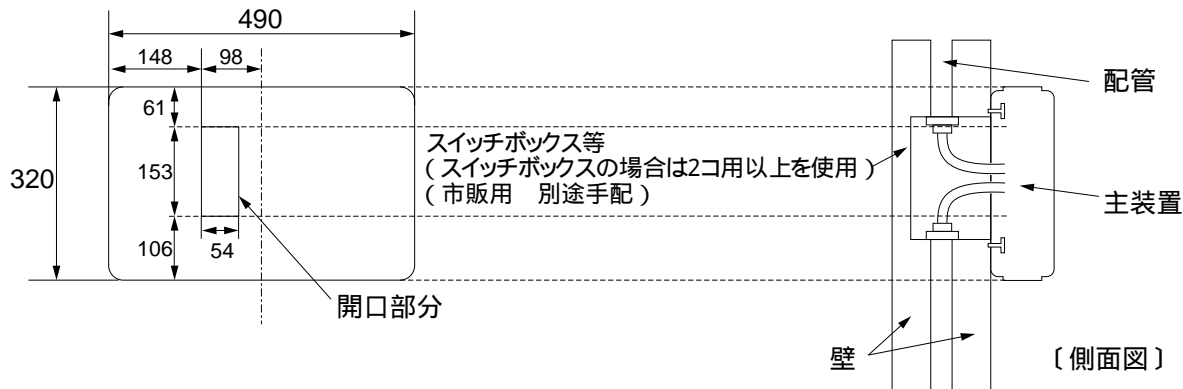
壁面に型紙を使用して指定の寸法で4ヶ所にねじ（4mm木ねじまたはボルトアンカー等）を取付ける。

下ケースの取付穴（4ヶ所）にねじを差し込んだ後、下ケースを引き下げる。

4本の取付ねじを完全に締め付ける。



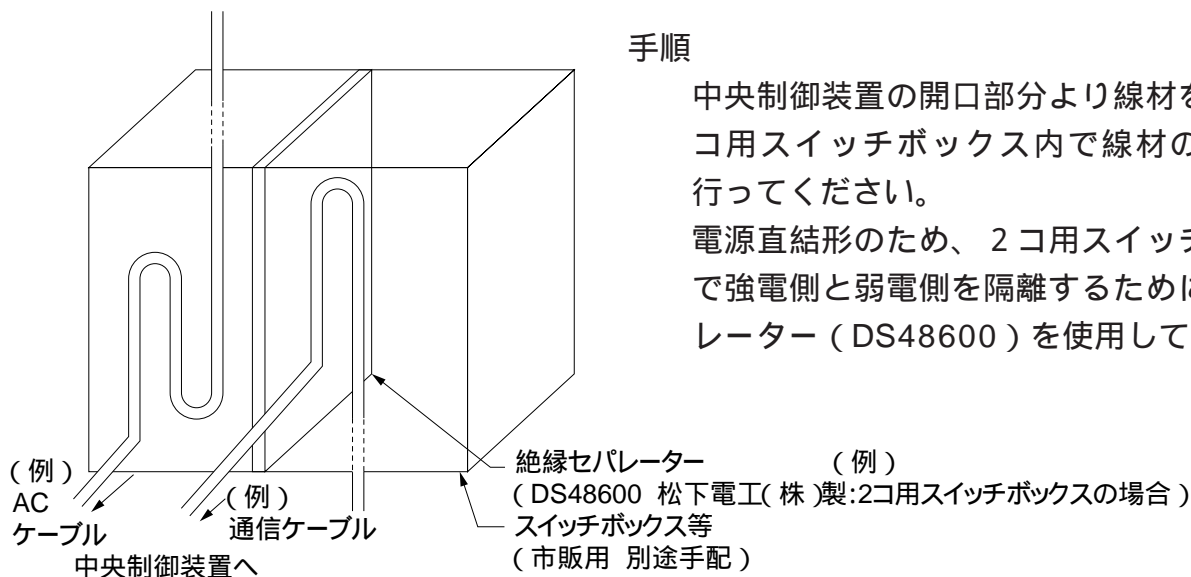
《壁取付の配線引廻し方法》（単位：mm）



手順

中央制御装置の開口部分より線材を入線し、2コ用スイッチボックス内で線材の余長処理を行ってください。

電源直結形のため、2コ用スイッチボックス内で強電側と弱電側を隔離するために、絶縁セパレーター（DS48600）を使用してください。



《床置き取付方法》

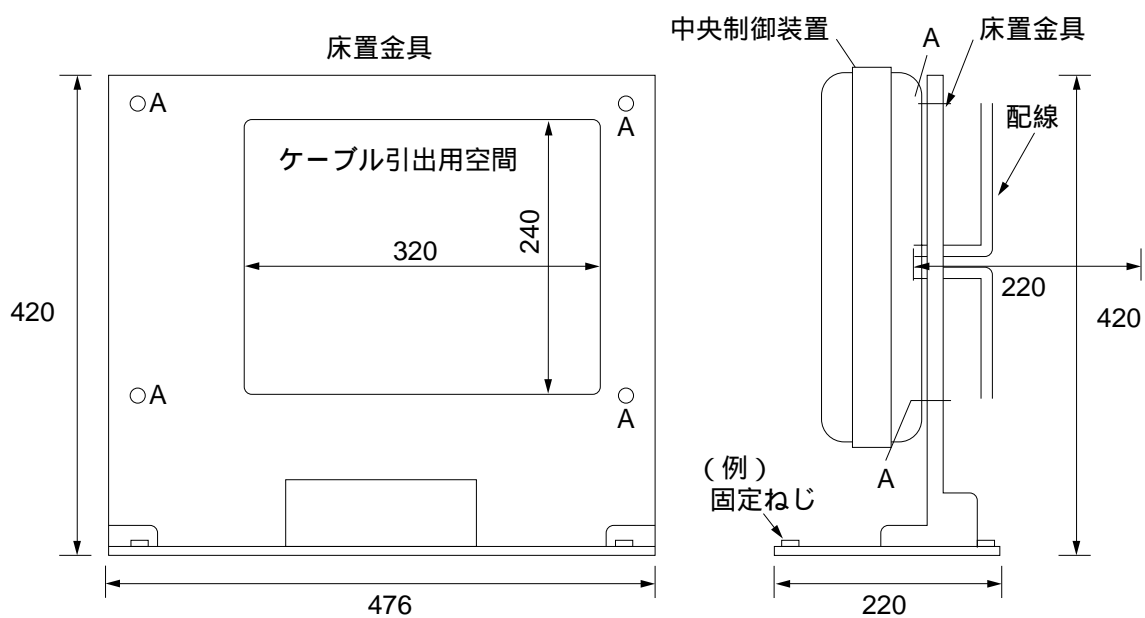
手順

上カバーをはずす（上カバーの開け方を参照）。

別売〔コミュニケーションシステム（事）製〕の「床置金具（VB-D241）」の4ヶ所（A）にねじを取付ける。

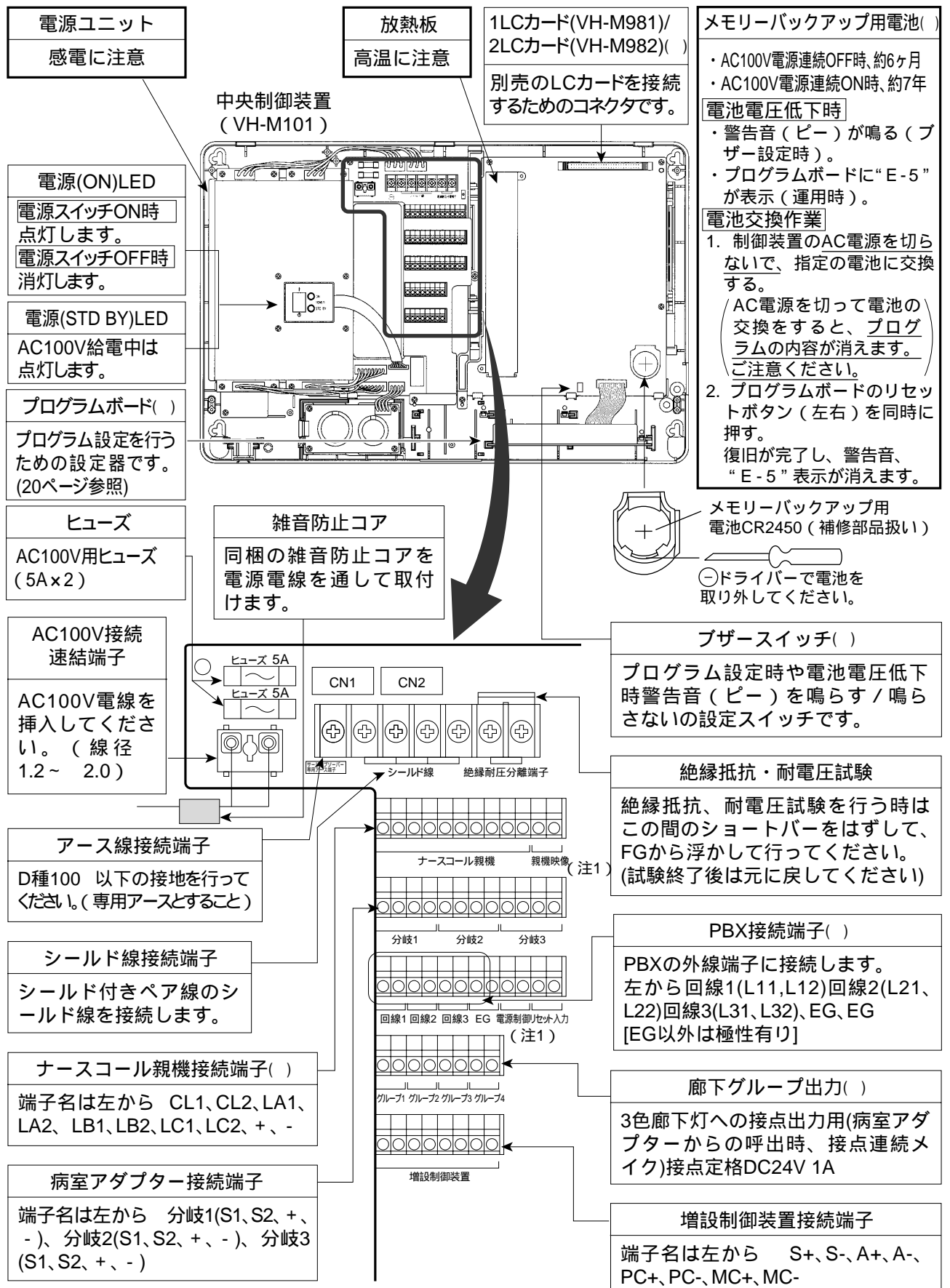
下ケースの取付穴（4ヶ所）にねじを差し込んだ後、下ケースを引き下げる。

4本の取付ねじを完全に締め付ける。



（単位：mm）

2. 各種ユニットおよび端子配置について



() 増設制御装置(VH-M102)にはありません。

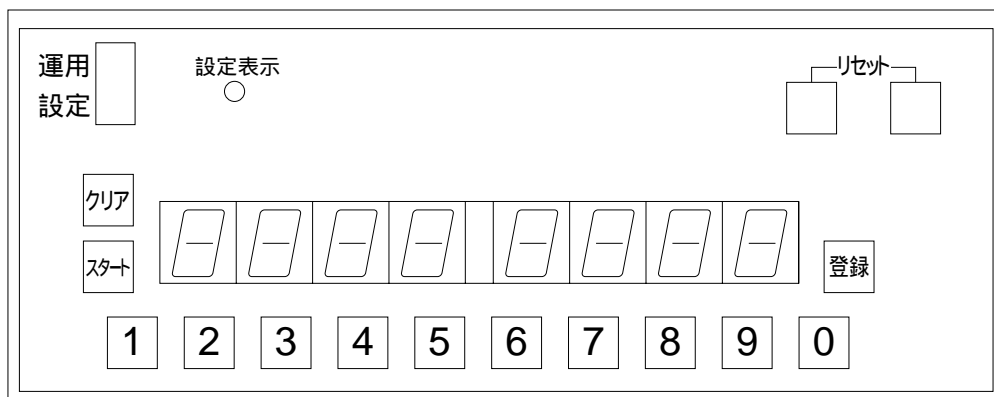
(注1) 親機映像、電源制御、リセット入力は未使用端子です。

3. プログラム表の作成と登録

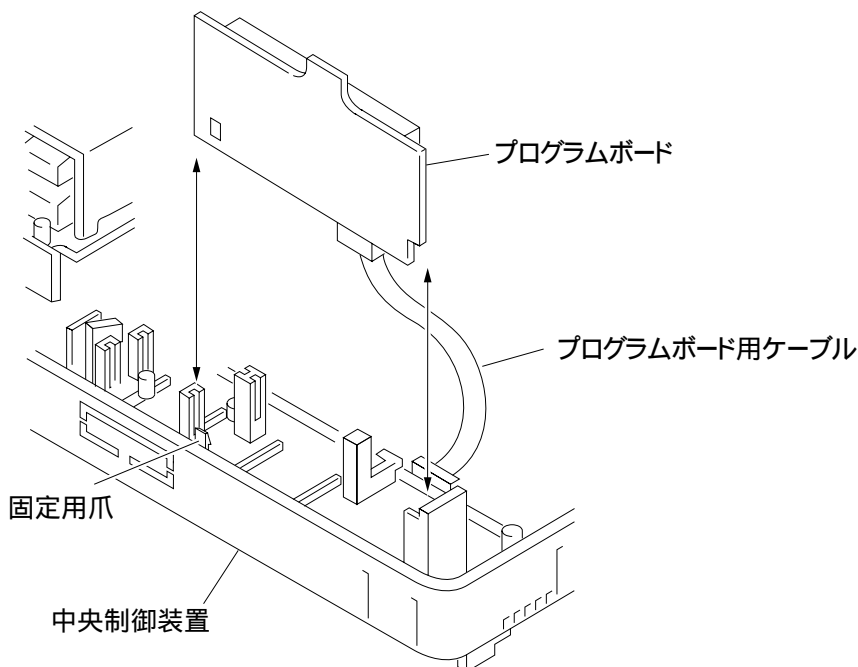
プログラムボードの準備

プログラムボードは、プログラム登録開始時、中央制御装置より引き出してください。
左上のモードスイッチを設定側に切替えてください。(設定表示ランプが点灯します。)

お願い プログラム設定終了後はプログラムボードのモードスイッチは必ず運用側にしてください。

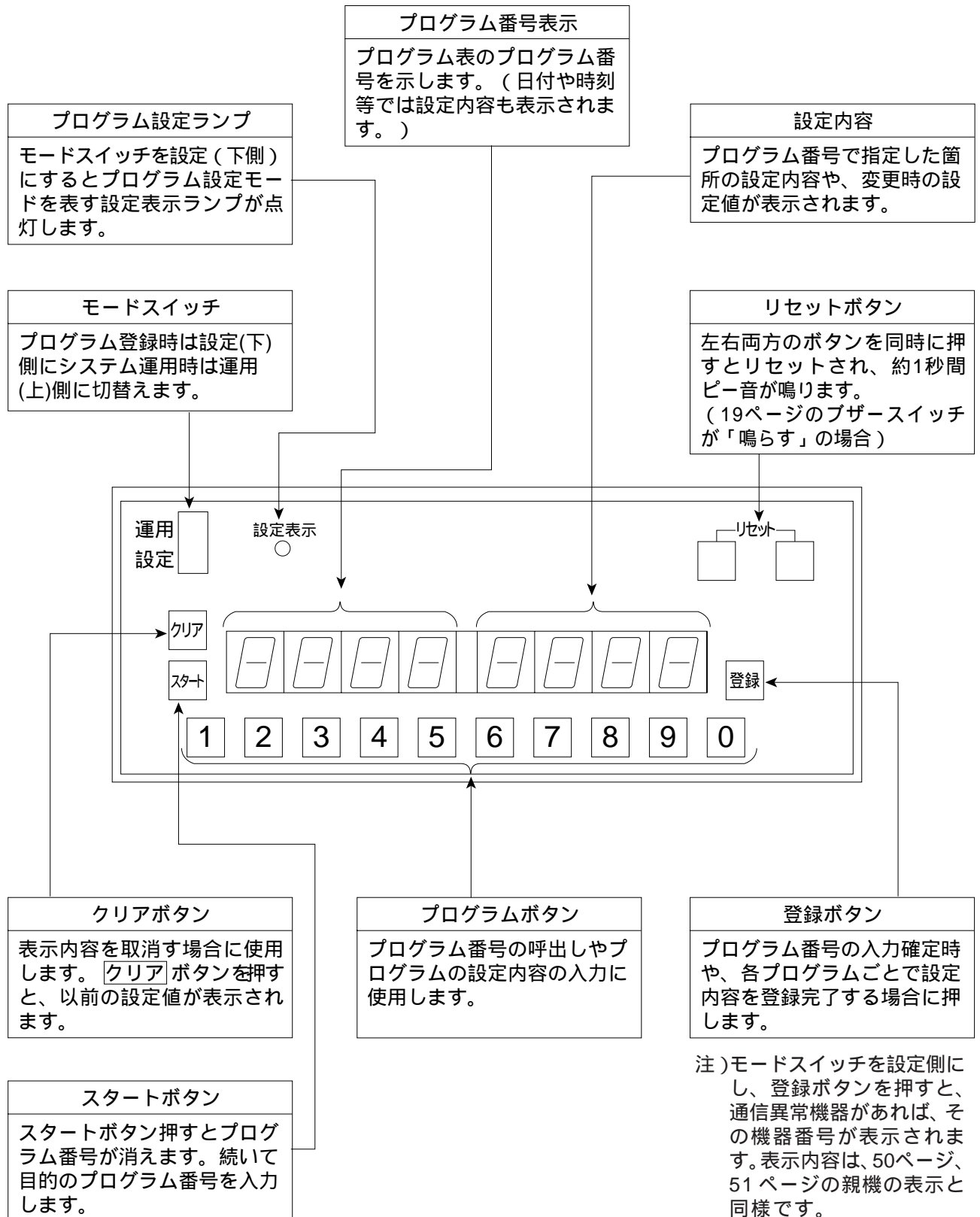


収納する場合は、固定用爪にひっかかるまで(プログラムボード用ケーブルをはさまない
ように)上から押し込んでください。



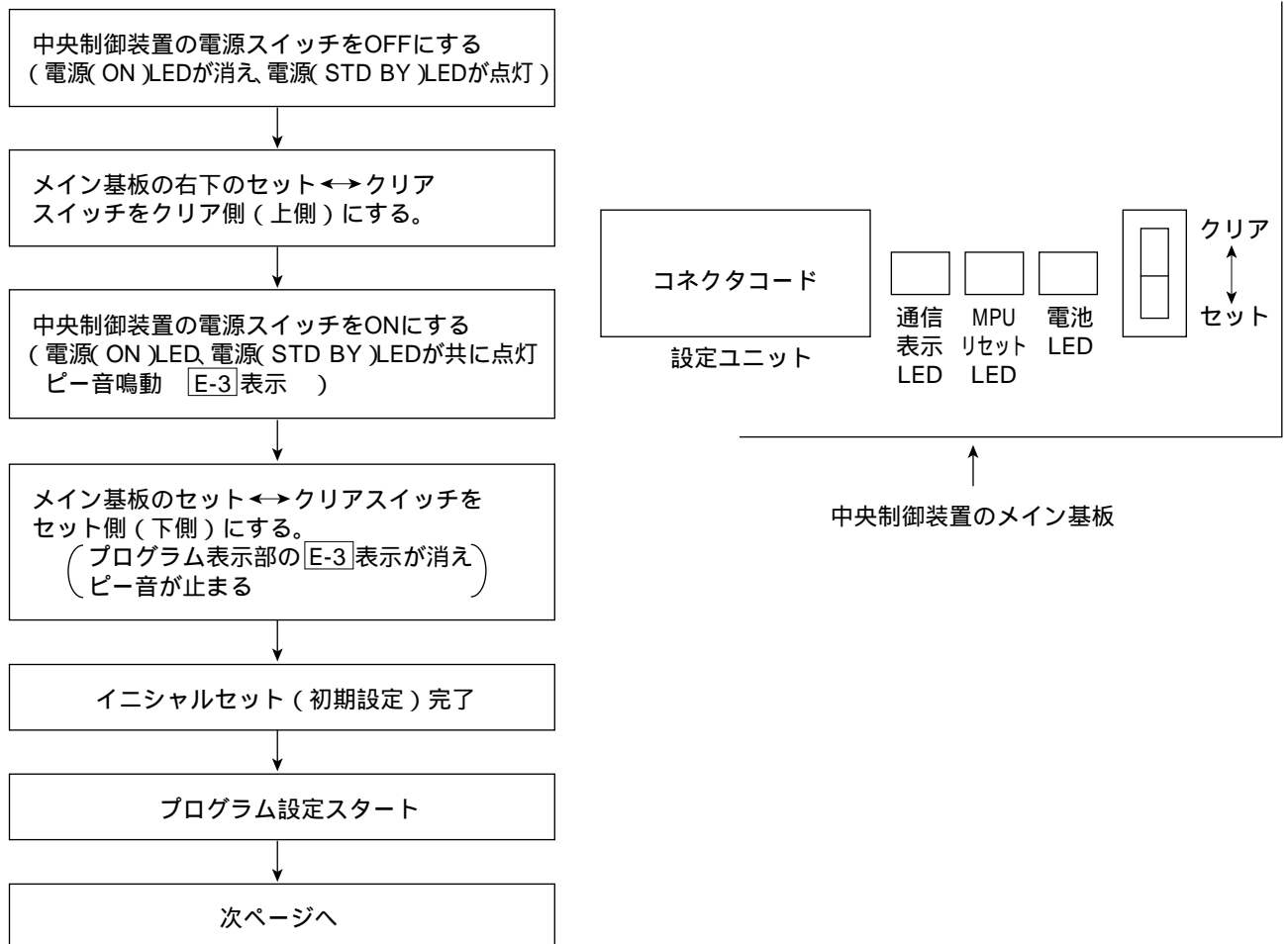
プログラム表とプログラムボードの関連

プログラム表とプログラムボードとの関係、およびプログラムボード操作部の説明を下記に示します。



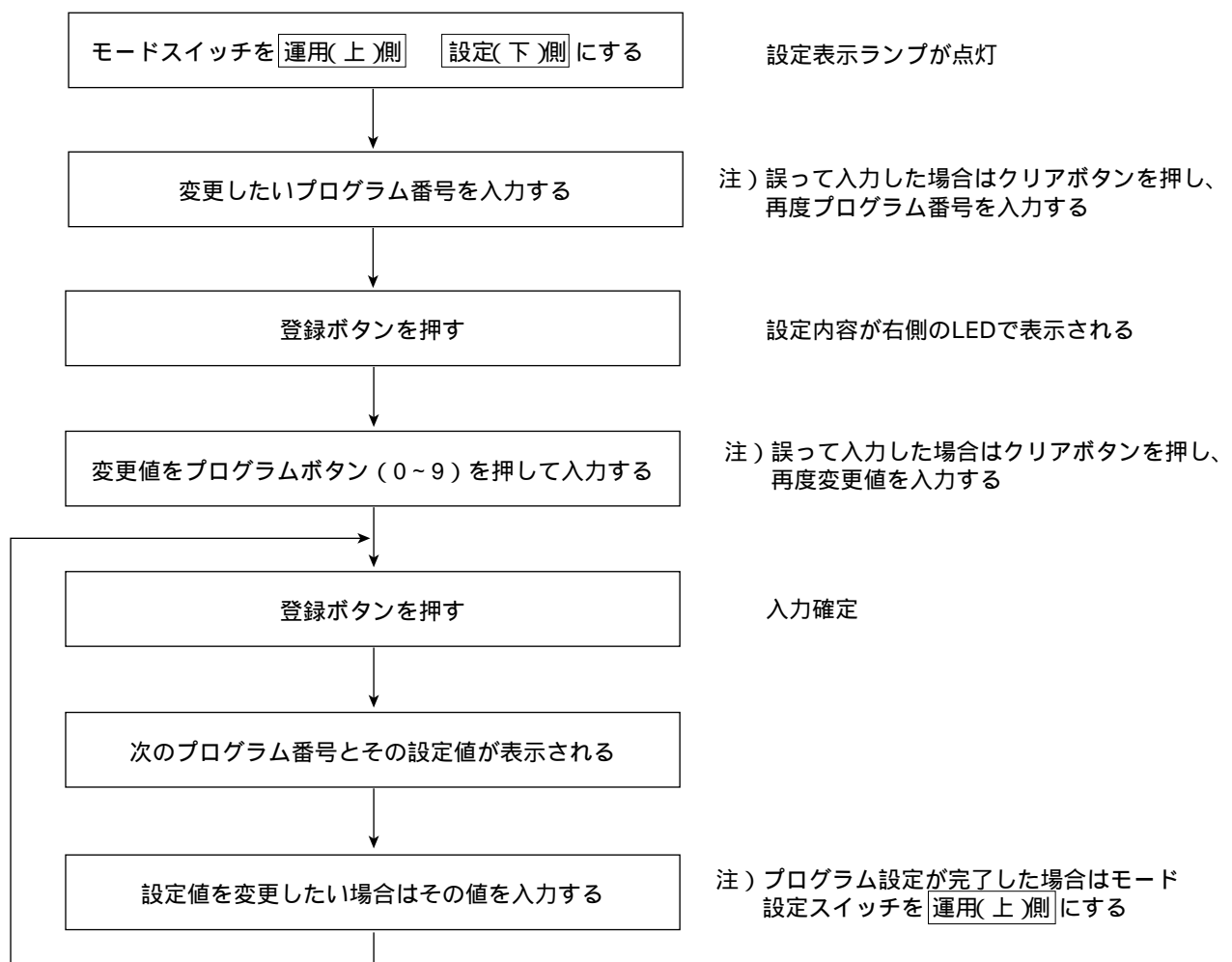
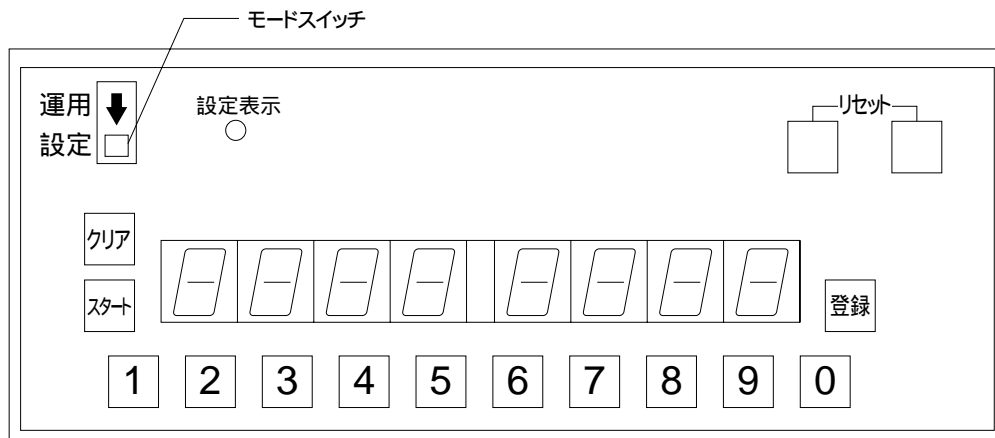
イニシャルセット（初期設定）の方法・・・出荷時状態（初期値）

- (1) 作成したプログラムを登録完了後、または登録途中でこのイニシャルセットを実行すると登録した内容は消えイニシャル状態（工場出荷時）になります。
- (2) プログラム登録を行う前に必ずこのイニシャルセット手順を実行してください。
イニシャルセットが実行されない場合、CPUが動作しませんのでご注意ください。
- (3) ベッド番号等は初期設定されていないので登録してください。



[E-3]表示しない場合があります。

プログラム設定方法



プログラム番号と設定内容説明

プログラム設定一覧 システム構成情報 (1 ~ 19)

プログラムNo.	項目 No.	設定内容	初期値	設定値	詳細説明・備考
1	-	親機設置台数	1		1 ~ 5 (最大5台まで接続可) (ボード形通話ユニットとナースコール通話機の合計接続台数)
2	-	系統1 病室/トイレ/映像伝送アダプター 接続台数	1		0 : 未接続 1 ~ 60 : 接続台数
3	-	未使用	0		必ず0と設定
4	-	系統2 病室/トイレ/映像伝送アダプター 接続台数	0		0 : 未接続 1 ~ 60 : 接続台数
5	-	未使用	0		必ず0と設定
6	-	PBX カード接続	0		0 : 接続なし 1 : 接続あり(プログラムNo.20 ~ 35 参照)
10	-	通話制限時間 (秒)	90		30 ~ 240 (注1)
11	-	「部屋番号 + 子機番号」桁数	6		3 ~ 7 (注2)
12	-	子機番号桁数	1		1 : 子機番号1桁で運用 2 : 子機番号2桁で運用 親機の液晶表示で、部屋番号と子機番号の間に “ - ” ハイフンを挿入する位置を設定する。
13	1	脱落断線警報音出力	0		0 : 鳴らさない (PSへも通知しない) (注3) 1 : 鳴らす
	2	B/K 端子着信優先度区別	0		0 : 区別しない 1 : 区別する (注4)
	3	通信異常時の親機確認 LED 点灯	0		0 : 点灯なし 1 : 点灯あり (注5)
	4	オプション入力報知のセンサ連動	0		0 : センサ連動しない 1 : センサ連動する (注6)
14	-	秘話機能	0		0 : なし 1 : あり (プライバシー保護) (注7)
15	-	日付設定	990601		1999年6月1日 (注8)
16	-	時刻設定	000000		00時00分00秒 (24時間モード)
17	-	未使用	1		必ず1と設定
18	1	子機優先順位 1	0		着信の優先順位を局番 (系統番号 + アダプターアドレス + 子機番号) で設定する。0は優先順位未設定とする。0を設定した場合、空白表示される。 (注9)
	2	子機優先順位 2	0		
	3	子機優先順位 3	0		
	:	:	0		
	20	子機優先順位 20	0		
19	1	通話路 1 の管理エリア	12345678		0 : 未使用 0 以外 : 各通話路で使用するエリアの番号 (1 ~ 8) を8桁で設定する。(注10)
	2	通話路 2 の管理エリア	12345678		
	3	通話路 3 の管理エリア	12345678		

(注1) PSの通話制限時間の設定は、コードレス主装置で行います。

(注2) 「部屋番号+子機番号」を7桁に設定した場合、最上位桁は必ず0に固定されます。

(注3) PSはコードレス電話機を示す。

(注4) B/K端子着信優先度区別

0: 区別しない プログラムNo.1011～2607においてB端子の種別をナースコール以外(トイレ、バス、キンキュウ)に設定した場合、親機側での着信優先順位が他のナースコール呼びよりも高くなり、選局ユニットのランプ点滅も速くなる。

1: 区別する プログラムNo.1011～2607においてB端子の種別をナースコール以外(トイレ、バス、キンキュウ)に設定した場合、親機側での着信優先順位は他のナースコール呼びと同等で、選局ユニットのランプ点滅も通常点滅となる。

(注5) 通信異常時の親機確認LED点灯

0: 点灯なし 通信異常機器を検出しても親機の確認ランプは点灯しない。(点検ボタンを押すと異常が発生している機器が液晶に表示される。)

1: 点灯あり 通信異常を1度でも検出すると親機の確認ランプを点灯させる。(詳細は52ページ参照)

(注6) オプション入力報知のセンサ連動

0: センサ連動しない 病室アダプターのオプション入力 that 復旧しても、親機で確認操作を行うか、PSで応答するまでは親機の表示が復旧しない。

1: センサ連動する 病室アダプターのオプション入力の復旧、親機の操作確認、PSでの応答のいずれかにより親機の表示は復旧する。

(注7) 秘話機能

0: なし 親機やPSから子機を選局すると双方向通話になる。

1: あり 親機やPSから子機を選局すると片方向通話(子機のマイクOFF)になり、この後、子機の呼び出しボタンを押すことで双方向通話になる。(緊急ボタンを押しても双方向通話にはなりません。)

(注8) 2000年の場合は上位2桁を‘00’と入力する。

例) 2000年6月1日の場合‘000601’と入力する。

(注9) 1から順番に詰めて設定すること。同じ局番が既に存在する場合は登録されない。

(注10) プログラムNo.91～95に関連し、親機毎に使用する通話路を決定する。

(使用例)

システムとして3エリアを使用し、3台の親機が設定されている場合に左記プログラムを

19-1:1

19-2:2

19-3:3

と設定する。

また、各親機の担当するエリアをプログラムNo.91～93で

91:1

92:2

93:3

と設定すると、

親機1は、通話路1が使用可能

親機2は、通話路2が使用可能

親機3は、通話路3が使用可能

但し、映像伝送アダプターが接続されている場合は、通話路の使用/未使用の設定のみとなり、エリア管理は無効となる。

プログラム設定一覧 PBX 関連情報(20 ~ 35)(プログラム No.6 を“ 1 ”に設定した場合のみ登録可)

プログラムNo.	項目 No.	設定内容	初期値	設定値	詳細説明・備考
20	-	PBX へのグループ番号送信桁数	0		0 : PBX へグループ番号を送信しない。 (J-2000 の場合) 1 : PBX へグループ番号を 1 桁で送信。(未使用) 2 : PBX へグループ番号を 2 桁で送信。 (J-3000 の場合)
21	1	PS グループ番号 1	01		1. チームナースングを行う場合に使用する。 各子機のグループ番号はプログラム番号 1011 ~ 1607、または 2011 ~ 2607 の 項目番号 2 で設定する。(1 ~ 8) その 1 ~ 8 が各々 21-1 ~ 21-8 のグルー プ番号に変換される。 2. PBX へ送信するグループ番号を 01 ~ 64 までの範囲で設定する。
	2	PS グループ番号 2	01		
	3	PS グループ番号 3	01		
	4	PS グループ番号 4	01		
	5	PS グループ番号 5	01		
	6	PS グループ番号 6	01		
	7	PS グループ番号 7	01		
	8	PS グループ番号 8	01		
22	1	親機 2 の PS 夜間転送グループ番号 1	00		親機の夜間転送設定時に連動して転送する PS グループを登録する。 00 : 夜間転送しない。 01 ~ 64 : 転送先グループ番号 (使用例) システムとして 3 グループを使用し、3 台の親 機が設置されている場合に左記プログラムを 21-1 : 11、21-2 : 12、21-3 : 13 22-1 : 00、22-2 : 11、22-3 : 00 23-1 : 00、23-2 : 00、23-3 : 11 と設定すると下記のような動作となる。 1. 夜間転送設定していない場合に 親機 1 の患者さんをグループ 11 の PS で 親機 2 の患者さんをグループ 12 の PS で 親機 3 の患者さんをグループ 13 の PS で 対応するよう設定したとする。 2. 親機 2 を夜間転送設定すると 親機 1、親機 2 の患者さんをグループ 11 の PS で、親機 3 の患者さんをグループ 13 の PS で対応する。 3. 上記 2 の状態で親機 3 を夜間転送設定すると 親機 1、親機 2、親機 3 の患者さんをグルー プ 11 の PS で対応する。 4. 上記 3 の状態で親機 2 の夜間転送を解除す ると 親機 1、親機 3 の患者さんをグループ 11 の PS で、親機 2 の患者さんをグループ 12 の PS で対応する。 5. 上記 4 の状態で親機 3 の夜間転送を解除 すると夜間転送設定していない元の状態に 戻る 注) プログラム No1 で設定した親機接続台数 のみが設定可能
	2	親機 2 の PS 夜間転送グループ番号 2	00		
	3	親機 2 の PS 夜間転送グループ番号 3	00		
	4	親機 2 の PS 夜間転送グループ番号 4	00		
	5	親機 2 の PS 夜間転送グループ番号 5	00		
	6	親機 2 の PS 夜間転送グループ番号 6	00		
	7	親機 2 の PS 夜間転送グループ番号 7	00		
	8	親機 2 の PS 夜間転送グループ番号 8	00		
23 ~	1	親機 3 の PS 夜間転送グループ番号 1	00		
	2	親機 3 の PS 夜間転送グループ番号 2	00		
24	⋮		⋮		
	7	親機 4 の PS 夜間転送グループ番号 7	00		
25	8	親機 4 の PS 夜間転送グループ番号 8	00		
	1	親機 5 の PS 夜間転送グループ番号 1	00		
	2	親機 5 の PS 夜間転送グループ番号 2	00		
	3	親機 5 の PS 夜間転送グループ番号 3	00		
	4	親機 5 の PS 夜間転送グループ番号 4	00		
	5	親機 5 の PS 夜間転送グループ番号 5	00		
	6	親機 5 の PS 夜間転送グループ番号 6	00		
	7	親機 5 の PS 夜間転送グループ番号 7	00		
8	親機 5 の PS 夜間転送グループ番号 8	00			

【特記事項】

- (1) PS のグループはプログラム番号 21-1 ~ 21-8 に設定したグループ番号 8 種類が定義できる。
- (2) PS グループの設定桁数はプログラム番号 20 のグループ送信桁数で決定される。

プログラムNo.	項目No.	設定内容	初期値	設定値	詳細説明・備考
30	-	PSへのオプション通知	0		0：通知しない 1：通知する(OP1～4のみ) (PSの液晶表示にOP(オプション)の着信種別を通知するか否かの設定)
31	-	PBX回線1の管理グループ	12345678		0：回線未使用。 0以外：回線使用。(最大8桁) 各回線で管理するPSグループ番号1～8を8桁以内で設定する 例)PSグループ1,2,3をこの回線で使用したい場合は'123'と設定する。但しプログラムNo.21-1,21-2,21-3へはPBX側で使用するグループ番号を設定しておく。
32	-	PBX回線2の管理グループ	12345678		
33	-	PBX回線3の管理グループ	12345678		
34	-	PS呼出遅延時間(秒)	0		0～60秒 (着信時、ナースコールの親機に呼出しを行った後、PS着信までの遅延時間設定)
35	-	PSへの着信種別通知有無	1		0：PSへ着信種別通知しない。 1：PSへ着信種別通知する。 (PSの液晶表示にNC(ナースコール)KK(緊急)等の着信種別を通知するか否かの設定)PBXへ送るPB番号は下表参照

【特記事項】

(1) プログラム番号30でPSへオプションを通知する設定にしてもオプション5,6は通知されません。

(2) PBXへ送るPB番号表

着信種別	PB番号
ナースコール	0
トイレコール	1
バスコール	2
緊急	3
脱落断線	4
オプション1	5
オプション2	6
オプション3	7
オプション4	8

プログラム設定一覧 親機情報 (90 ~ 95)

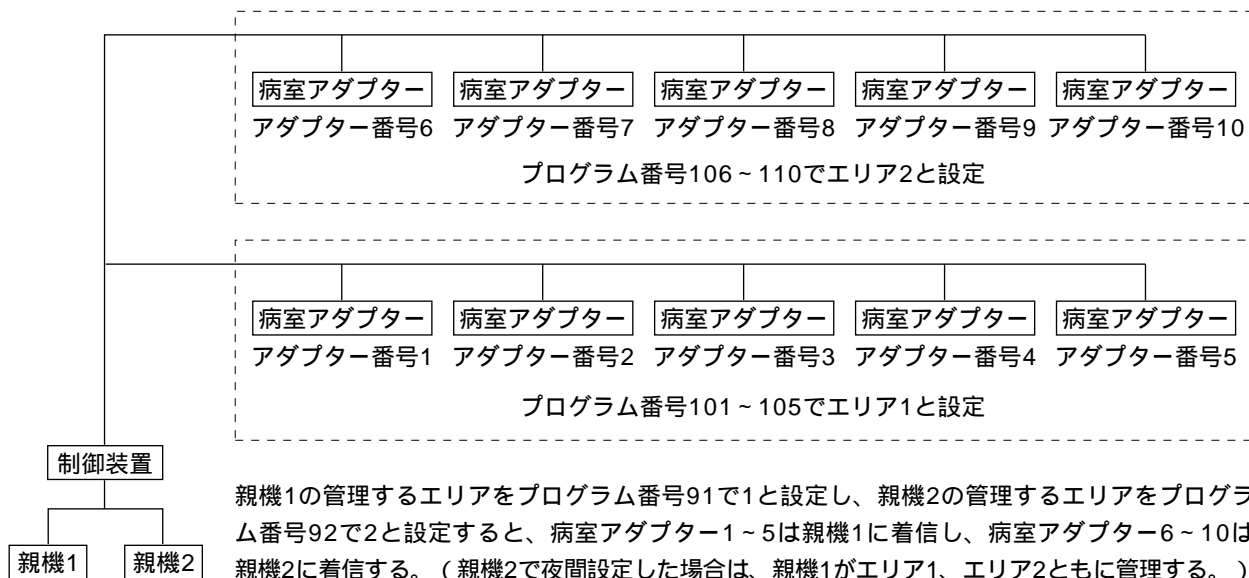
プログラムNo.	項目No.	設定内容	初期値	設定値	詳細説明・備考
90	1	エリア1の通常着信鳴動音	1		1: プルプルプル 2: ピンボンパンボン 3: ルルルル 4: 「エリーゼのために」 5: 「メヌエット」 (注) 4、5はメロディー
	2	エリア2の通常着信鳴動音	1		
	3	エリア3の通常着信鳴動音	1		
	4	エリア4の通常着信鳴動音	1		
	5	エリア5の通常着信鳴動音	1		
	6	エリア6の通常着信鳴動音	1		
	7	エリア7の通常着信鳴動音	1		
	8	エリア8の通常着信鳴動音	1		
91	-	親機1の担当エリア(注1)	1		担当するエリアの番号(1~8)を8桁で設定する。 ・ エリア1, 2, 3を担当する場合、'123'と設定する ・ 全エリアの場合12345678を設定する (注)・0は入力不可とする。
92	-	親機2の担当エリア	1		
93	-	親機3の担当エリア	1		
94	-	親機4の担当エリア	1		
95	-	親機5の担当エリア	1		

【特記事項】

エリアについて

各病室アダプター毎に設定されたエリア番号(1~8)に対応して、各親機でどのエリアを担当するかを設定することで1台の制御装置で複数の病棟を管理することができます。

[設置例]



(注1) 夜間転送先は親機1に固定されるため、転送先の親機を必ずアドレス1とすること。

親機1は他の親機が夜間転送設定を行った場合、91へ設定したエリア以外を担当することもある。

プログラム設定一覧 系統1病室アダプター情報 (101 ~ 164)

プログラムNo.	項目No.	設定内容	初期値	詳細説明・備考
101	1	系統1病室アダプター1情報	104	<p>子機接続台数 (1 ~ 7) 廊下グループ (注1) 0 : 出力なし 1 ~ 4 : 出力する 所属エリア 1 ~ 8</p>
	2	病室アダプター1の映像機能	00	+位 0 : 病室アダプター 1 : 映像伝送アダプター(子機接続台数0) 2 : 映像伝送アダプター(子機接続台数1) -位 0 : NTSC出力カメラ 1 : 小型ドームカメラ (VL-V853A)
102	1	系統1病室アダプター2情報	104	101-1と同じ。
	2	病室アダプター2の映像機能	00	101-2と同じ。
:	:	:	:	:
160	1	系統1病室アダプター60情報	104	101-1と同じ。
	2	病室アダプター60の映像機能	00	101-2と同じ。
161	-	未使用	0	必ず0と設定
162	-	未使用	0	
163	-	未使用	0	
164	-	未使用	0	

【特記事項】

- ・プログラム番号 = 系統番号 + アダプター番号とする。
- ・プログラム番号2で設定した台数のみ設定可能。(161 ~ 164は未使用のため0と設定する。)
- ・1グループ、1エリア共に120床以内としてください。

(注1) 廊下グループ

病室アダプターから呼び出しが上がった場合に19ページの廊下グループ出力用のどの接点を閉じるかを設定する。主に3色廊下灯の点灯制御に使用する。

プログラム設定一覧 系統2アダプター情報 (201 ~ 264)

プログラムNo.	項目 No.	設定内容	初期値	詳細説明・備考
201	1	系統2病室アダプター1情報	104	<p>子機接続台数 (1 ~ 7) 廊下グループ (注1) 0 : 出力なし 1 ~ 4 : 出力する 所属エリア 1 ~ 8</p>
	2	病室アダプター1の映像機能	00	+位 0 : 病室アダプター 1 : 映像伝送アダプター (子機接続台数0) 2 : 映像伝送アダプター (子機接続台数1) -位 0 : NTSC 出力カメラ 1 : 小型ドームカメラ (VL-V853A)
202	1	系統2病室アダプター2情報	104	201-1 と同じ。
	2	病室アダプター2の映像機能	00	201-2 と同じ。
:	:	:	:	:
260	1	系統2病室アダプター60情報	104	201-1 と同じ。
	2	病室アダプター60の映像機能	00	201-2 と同じ。
261	-	未使用	0	必ず0と設定
262	-	未使用	0	
263	-	未使用	0	
264	-	未使用	0	

【特記事項】

- ・プログラム番号 = 系統番号 + アダプター番号とする。
- ・プログラム番号4で設定した台数のみ設定可能。(261 ~ 264は未使用のため0と設定する。)
- ・1グループ、1エリア共に120床以内としてください。

(注1) 廊下グループ

病室アダプターから呼び出しが上がった場合に19ページの廊下グループ出力用のどの接点を閉じるかを設定する。主に3色廊下灯の点灯制御に使用する。

プログラム設定一覧（系統1の子機情報 1011～1607）

プログラムNo.	項目No.	設定内容	初期値	詳細説明・備考
1011	1	部屋番号+子機番号（注1）（注3）	001011	親機およびPSへ表示したい任意のベッド番号を登録する（初期値：系統番号+アダプター番号+子機番号）
	2	子機情報	001	<p>PSグループ番号 1～8:グループ指定 （関連プログラムNo.21）</p> <p>B端子種別 0:ナースコール 1:トイレ 2:バス 3:キンキュウ</p> <p>K端子種別 0:キンキュウ 1:トイレ 2:バス 3:オプション2</p>
	3	オプション入力1,2	12	上位桁:オプション入力1 1～6（注2） 下位桁:オプション入力2 1～6
1012	1	同上		1011の各項目No.と同じ。
	2			
	3			
1013		同上		同上
1606		同上		同上
1607	1	同上		同上
	2			
	3			

【特記事項】

- (1) プログラム番号 = 系統番号 (1) + アダプター番号 (1～60) + 子機番号 (1～7)
- (2) プログラム番号2で設定したアダプター接続台数以上の領域の設定はできない。
- (3) ベッド番号の初期値はプログラム番号と同じ値とする。
- (4) 系統1、系統2通してベッド番号の設定は重複不可とする。

(注1) 部屋番号+子機番号

プログラム番号11で設定した桁数以上の設定はできない。

(注2) オプション入力1,2

病室アダプターのオプション入力1、および2が作動した際に、親機の6つのオプション表示ランプの内、どれを点滅させるかを選択する。同時にオプション入力1が作動した場合はランプ1に設定したものの優先順位が一番高くランプ6が一番低い。（同一ベッドのオプション入力1とオプション入力2を同一ランプ表示には設定しないでください。）

(注3) 子機番号に0(00)を設定しないこと。

プログラム設定一覧（系統2の子機情報 2011～2607）

プログラムNo.	項目No.	設定内容	初期値	詳細説明・備考			
2011	1	部屋番号+子機番号（注1）（注3）	002011	親機およびPSへ表示したい任意のベッド番号を登録する（初期値：系統番号+アダプター番号+子機番号）			
	2	子機情報	001	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;"> <table style="border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">0</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">0</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">1</td> </tr> </table> </div> <div> <p>PSグループ番号 1～8:グループ指定</p> <p>B端子種別 0:ナースコール 1:トイレ 2:バス 3:キンキュウ</p> <p>K端子種別 0:キンキュウ 1:トイレ 2:バス 3:オプション2</p> </div> </div>	0	0	1
	0	0	1				
3	オプション入力	12	上位桁：オプション入力1 1～6（注2） 下位桁：オプション入力2 1～6				
2012	1	同上		同上 2011の各項目No.と同じ			
	2						
	3						
2013		同上		同上			
{							
2606		同上		同上			
2607	1	同上		同上			
	2						
	3						

【特記事項】

- (1) プログラム番号 = 系統番号 (2) + アダプター番号 (1～60) + 子機番号 (1～7)
- (2) プログラム番号4で設定したアダプター接続台数以上の領域の設定はできない。
- (3) ベッド番号の初期値はプログラム番号と同じ値とする。
- (4) 系統1、系統2通してベッド番号の設定は重複不可とする。

(注1) 部屋番号+子機番号

プログラム番号11で設定した桁数以上の設定はできない。

(注2) オプション入力1,2

病室アダプターのオプション入力1、および2が作動した際に、親機の6つのオプション表示ランプの内、どれを点滅させるかを選択する。同時にオプション入力1が作動した場合はランプ1に設定したものの優先順位が一番高くランプ6が一番低い。(同一ベッドのオプション入力1とオプション入力2を同一ランプ表示には設定しないでください。)

(注3) 子機番号に0(00)を設定しないこと。

プログラム設定一覧（親機に連動する映像伝送アダプター情報 3001 ~ 3005）

プログラムNo.	項目No.	設定内容	初期値	詳細説明・備考
3001	1	親機 1 カメラ接続	0000	局番（系統番号+アダプター番号+カメラ番号） 1011 ~ 2604 の内、親機と連動させる映像伝送アダプターのカメラ番号を入力する。 例） 1 系統の 2 番の 1 のカメラの場合 1021 を入力 カメラ接続なしの場合 0000 を入力
	2	親機 1 モニター接続		
3002	1	親機 2		3001 の各項目 No. と同じ。
	2			
:	:	:	:	:
3005	1	親機 5		3001 の各項目 No. と同じ。
	2			

【特記事項】

- (1) プログラム番号 = 3000 + 親機番号 (1 ~ 5)
- (2) プログラム番号 3、5 が共に 0 台設定の場合、本プログラム番号は全てスキップされる。
- (3) 親機設定台数に関係なく、親機 5 台分の設定
- (4) 局番設定は、重複不可とする。

プログラム設定一覧（系統1の映像伝送アダプター情報 4011～4608）

プログラムNo.	項目No.	設定内容	初期値	詳細説明・備考
4011	1	カメラ接続	0000	局番（系統番号+アダプター番号+カメラ番号） 1011～2604の内、病室アダプターと連動させる映像伝送アダプターのカメラ番号を入力する。（注1） 例） 1系統の3番の1のカメラの場合 1031を入力 カメラ接続なしの場合 0000を入力
	2	モニター接続	0000	局番（系統番号+アダプター番号+モニター番号） 1011～2604の内、病室アダプターと連動させる映像伝送アダプターのモニターテレビの番号を入力する。 例） 1系統の3番の1のモニターテレビの場合 1031を入力 モニターテレビ接続なしの場合 0000を入力
	3	映像出力親機	1	親機番号（1～5）（注2）
4012	1	同上		4011の各項目No.と同じ。
	2			
	3			
:	:	:	:	:
4608	1	同上		4011の各項目No.と同じ。
	2			
	3			

【特記事項】

- (1) プログラム番号=系統番号(1(4)/2(5))+アダプターアドレス(01～60)+子機番号(1～7)
- (2) プログラム番号3、5が共に0台の場合、本プログラム番号は全てスキップされる。
- (3) アダプターが映像伝送（子機接続台数0）の場合、プログラム番号はスキップされる。
- (4) 局番設定は、重複不可とする。

ただし、1台の病室アダプターに接続されている複数の子機に連動させる場合は、局番の重複設定を可とする。

(注1) 映像伝送アダプターにハンド子機を接続して単独で動作させる場合は、系統番号+自アダプター番号+1を入力します。

例) 1系統の1番の映像伝送アダプターを単独で動作させる場合

プログラムNo.4011・・・1011

映像伝送アダプターの接点入力を使用して4つのカメラを伝送させる場合は、系統番号+自アダプター番号+カメラ番号を入力します。

例) 1系統の4番の映像伝送アダプターのカメラ2を接点3で起動する場合

プログラムNo.4043・・・1042

(注2) 1台の映像伝送アダプター（VH-R900D）内で設定する映像出力親機は同一番号にすること。

プログラム設定一覧（系統2の映像伝送アダプター情報 5011～5608）

プログラムNo.	項目No.	設定内容	初期値	詳細説明・備考
5011	1	カメラ接続	0000	局番（系統番号+アダプター番号+カメラ番号） 1011～2604の内、病室アダプターと連動させる映像 伝送アダプターのカメラ番号を入力する。（注1） 例） 2系統の3番の1のカメラの場合 2031を入力 カメラ接続なしの場合 0000を入力
	2	モニター接続	0000	局番（系統番号+アダプター番号+モニター番号） 1011～2604の内、病室アダプターと連動させる映像 伝送アダプターのモニターテレビの番号を入力する。 例） 2系統の3番の1のモニターテレビの場合 2031を入力 モニターテレビ接続なしの場合 0000を入力
	3	映像出力親機	1	親機番号（1～5）（注2）
5012	1	同上		5011の各項目No.と同じ。
	2			
	3			
:	:	:	:	:
5608	1	同上		5011の各項目No.と同じ。
	2			
	3			

【特記事項】

- (1) プログラム番号 = 系統番号 (1 (4) / 2 (5)) + アダプターアドレス (01～60) + 子機番号 (1～7)
- (2) プログラム番号 3、5 が共に 0 台の場合、本プログラム番号は全てスキップされる。
- (3) アダプターが映像伝送（子機接続台数 0）の場合、プログラム番号はスキップされる。
- (4) 局番設定は、重複不可とする。

ただし、1台の病室アダプターに接続されている複数の子機に連動させる場合は、局番の重複設定を可とする。

(注1) 映像伝送アダプターにハンド子機を接続して単独で動作させる場合は、系統番号 + 自アダプター番号 + 1を入力
します。

例) 2系統の1番の映像伝送アダプターを単独で動作させる場合

プログラム No.5011・・・2011

映像伝送アダプターの接点入力を使用して4つのカメラを伝送させる場合は、系統番号 + 自アダプター番号 +
カメラ番号を入力します。

例) 2系統の4番の映像伝送アダプターのカメラ2を接点3で起動する場合

プログラム No.5043・・・2042

(注2) 1台の映像伝送アダプター（VH-R900D）内で設定する映像出力親機は同一番号にすること。

2 1LC / 2LC カード VH-M981 / M982

(1) 概要

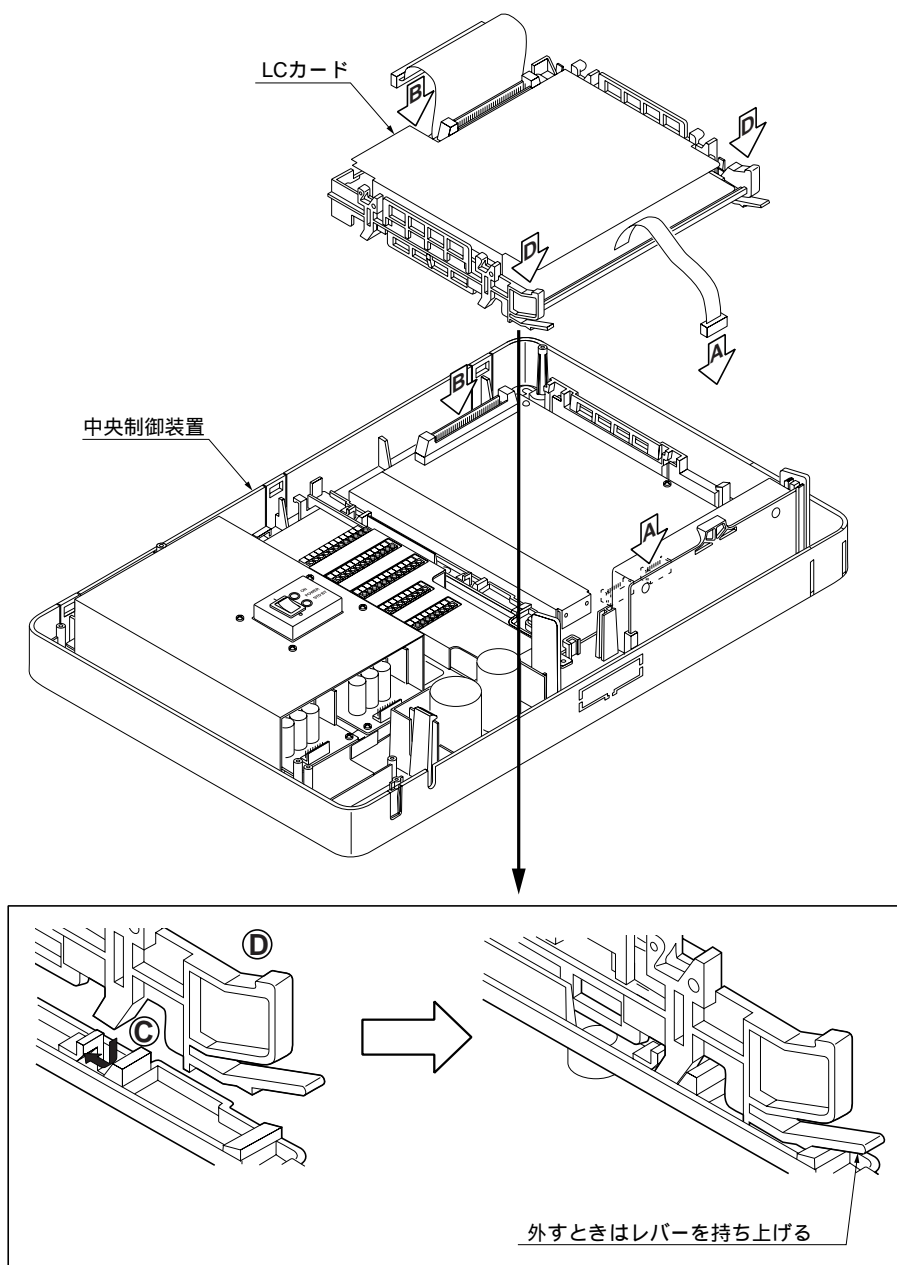
1LCカード VH-M981 (病室アダプター 60台接続用) / 2LCカード VH-M982 (病室アダプター 120台接続用)は、中央制御装置 (VH-M101) に必ずどちらか1枚を実装します。なお、2LCカードを実装する場合は別途、増設用制御装置 (VH-M102) が必要です。

(2) 1LC / 2LC カードの接続方法 (必ず電源を切った状態で接続してください。) 手順

LCカードからの **接続ケーブルA** を中央制御装置の **6Pコネクタ** へ、**接続ケーブルB** を中央制御装置の **60Pコネクタ** へ接続します。

中央制御装置のカード取付溝にLCカードのC部を合わせ、ロックレバーにより固定される (カチッと音がする。) までDを押す。

接続ケーブルA、Bについては下図をご参照ください。



3 PBXカード VH-M986

(1) 概要

PBXカードは、中央制御装置（VH-M101）に実装し、別途設置されたPBXシステムと接続することで、病室からの呼び出し時、コードレス電話機でも対応できるようにするためのカードです。

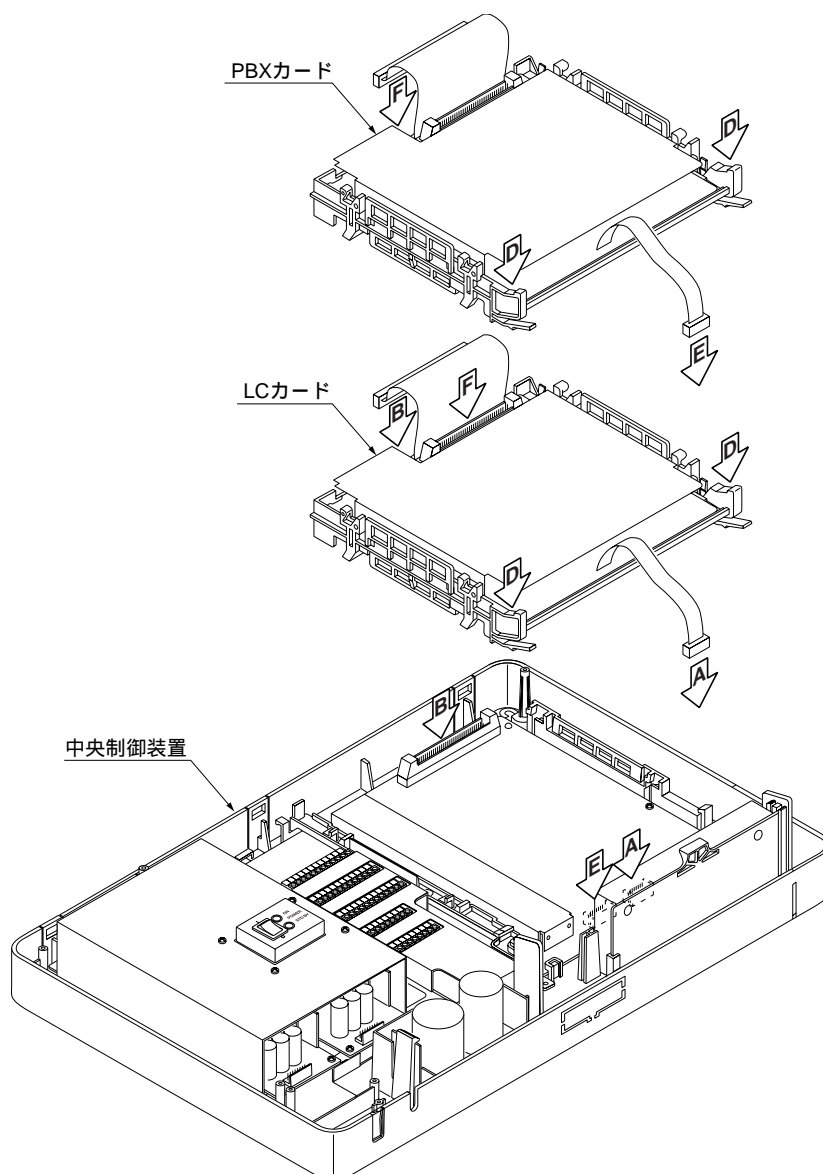
(2) PBXカードの接続方法（必ず電源を切った状態で接続してください。）

手順

PBXカードからの **接続ケーブルE** を中央制御装置の **7Pコネクタ** へ、**接続ケーブルF** をLCカードの **60Pコネクタ** へ接続します。

LCカードのカード取付溝にPBXカードのC部を合わせ、ロックレバーにより固定される（カチッと音がする。）までDを押す。（37ページ参照）

接続ケーブルE、Fについては下図をご参照ください。



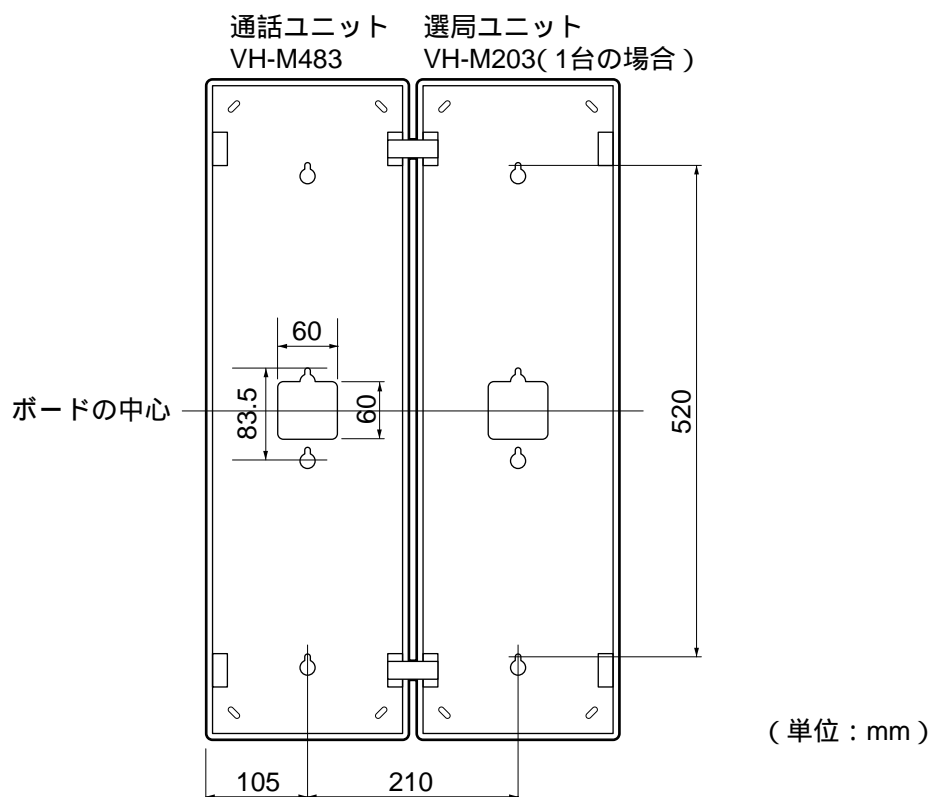
4 ボード形親機 (ボード形通話ユニット VH-M483 + ボード形選局ユニット VH-M203(最大6台))

1. ボード形親機取付方法

(1) 壁取付方法

《壁取付用ねじの取付寸法》

お知らせ	・ 取付寸法は、通話ユニット、選局ユニットとも同じです。
------	------------------------------



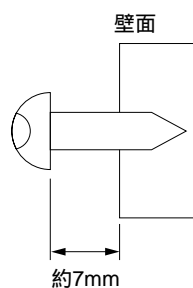
《取付ねじの固定寸法》

取付ねじを壁面より約7mm(下ケース取付のため)浮かして止めます。

重量に耐える取付をしてください。

通話ユニット：4kg

選局ユニット：3kg

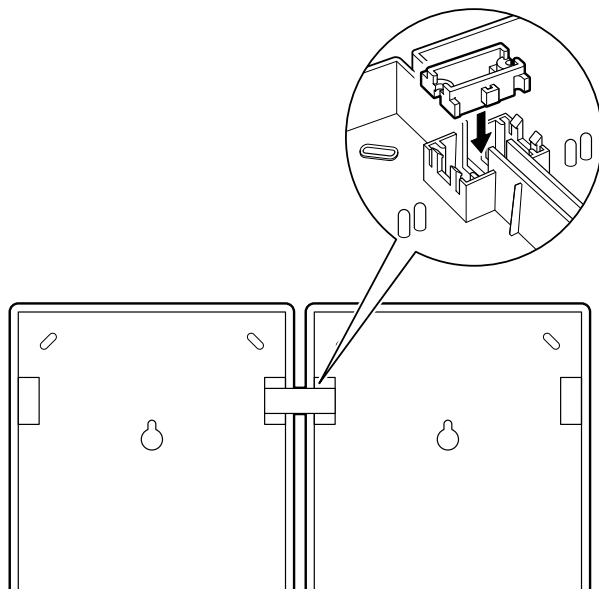


(例：4mm木ねじの場合)

手順

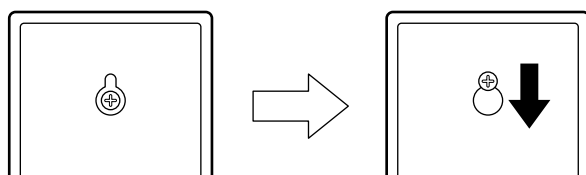
壁面に指定の寸法で各ユニット毎に2ヶ所のねじ（4mm 木ねじまたはボルトアンカー等）を取り付ける。

下ケース内にある連結ピースを取り出し、各ユニットを連結ピースでつなぐ。
（このとき連結ピースは図のような方向で音がするまで押し込みます。）



連結後のユニット全体の左端および右端は、連結ピースによって塞がれるようにしてください。出荷時、連結ピースは通話ユニットには4個、選局ユニットには2個付属しています。

配線コードを配線穴から通して、下ケースの取付穴（各ユニット毎に2ヶ所）にねじを差し込んだ後、下ケースを下へ引き下げる。



各ユニット毎に2本の取付ねじを完全に締め付ける。

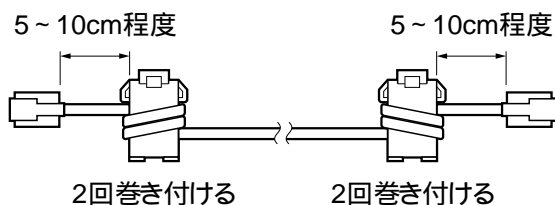
お願い	・各ユニットの2ヶ所の取付ねじで止めても不安定なときは、直結ピースの上下4隅の補強用ねじ穴を使用して固定してください。
-----	-------------------------------------------------------------

(2) 接続方法

手順

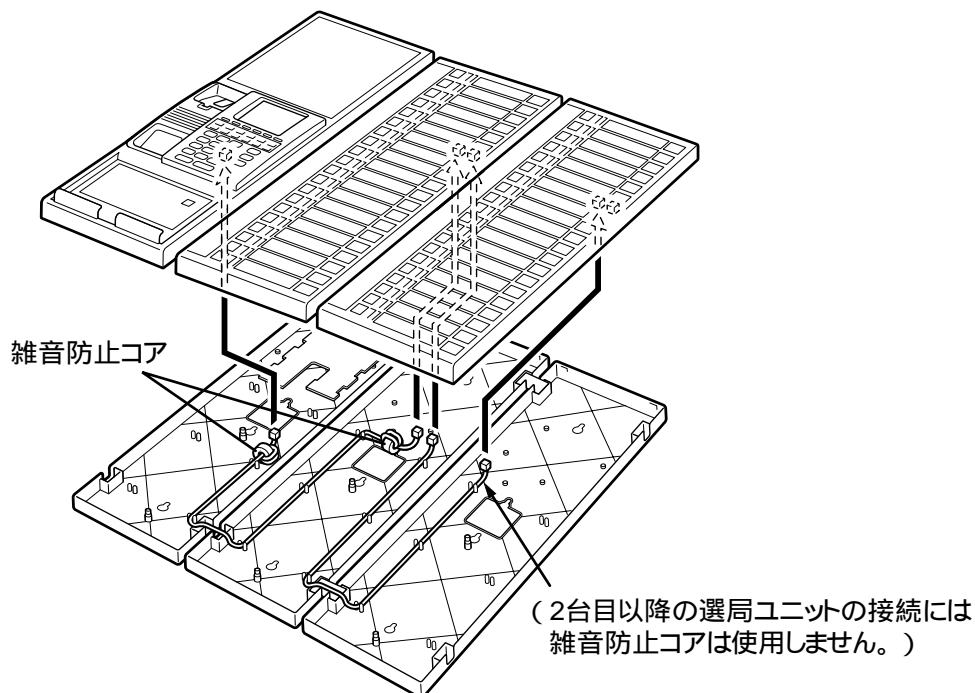
通話ユニットの端子基板に、中央制御装置からの配線を行う。(CPEV-S 0.9 5P)
(上部・下部をロックアウトで抜いて配線を通すこともできます。)

選局ユニット付属のモジュラーコードの両端に、雑音防止コアを取り付ける。



モジュラーコードを下ケースのクランプにはさみこみ、上ケースのモジュラージャックと下ケースのモジュラーコードを接続する。

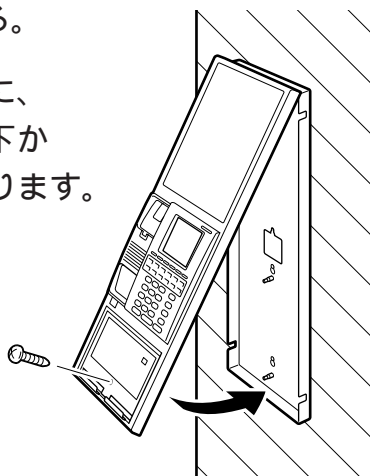
(モジュラーコードは下方の連結ピースの位置を通します。)



ボード形通話ユニットの50Pフラットケーブルを下ケースの基板上的コネクタに接続する。

上ケースの上部の爪を下ケースに引っかけてはめ込み、ねじ(通話ユニットは1ヶ所、選局ユニットは2ヶ所)で固定する。

通話ユニットのねじは鉄板の下に、
選局ユニットのねじは一番下と下から8番目の記入カードの下にあります。

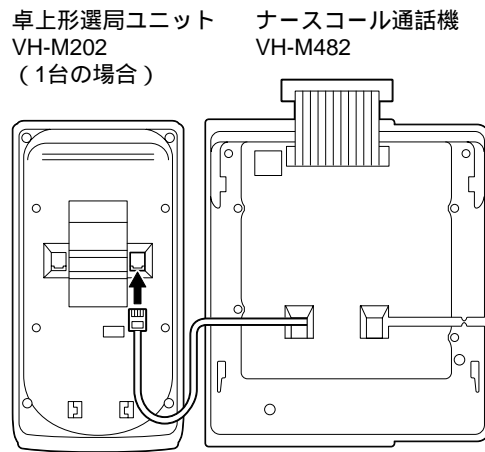


5 卓上形親機(ナースコール通話機VH-M482 + 卓上形選局ユニットVH-M202(最大6台))

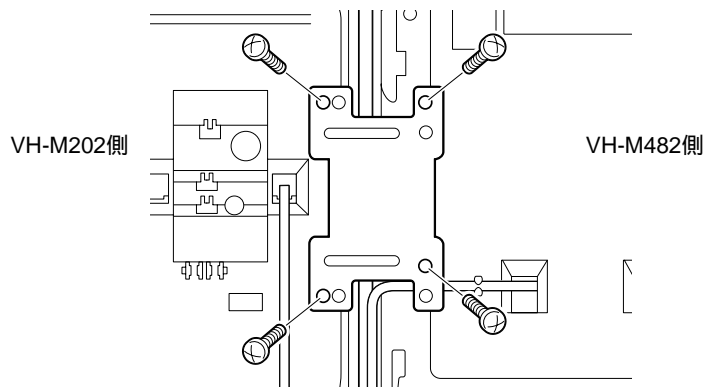
1. 卓上形親機接続方法

手順

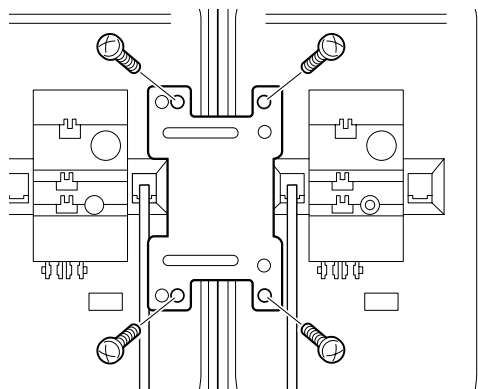
ナースコール通話機と卓上形選局ユニットを付属のモジュラーコードで接続する。同様に選局ユニット同士も接続する。



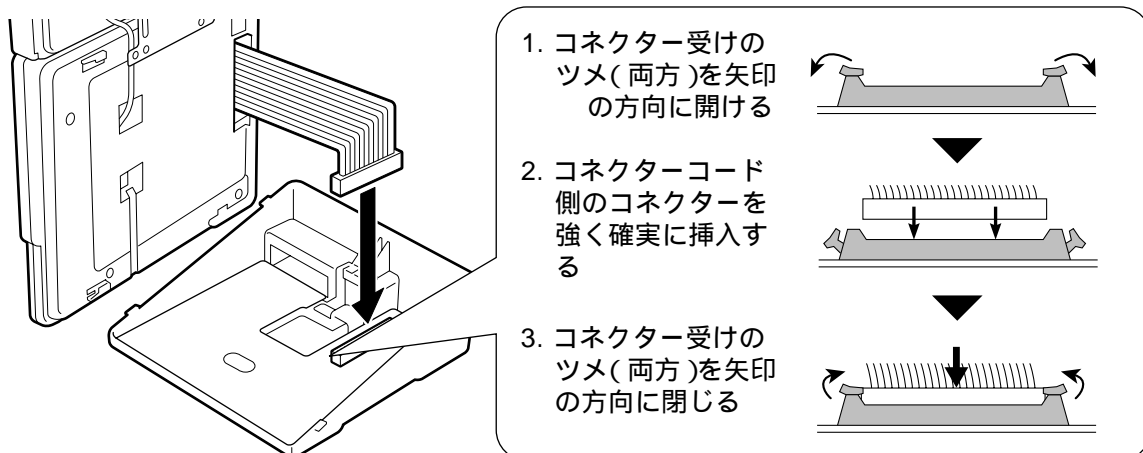
付属の連結金具で双方をねじ止めする。



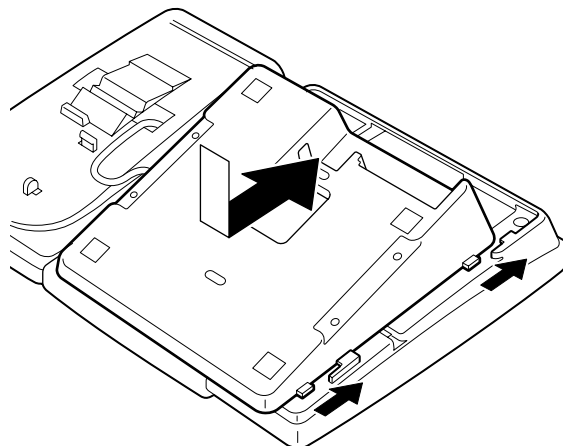
選局ユニット同士をつなげる場合、連結金具のねじ止めの位置がナースコール通話機とは異なります。



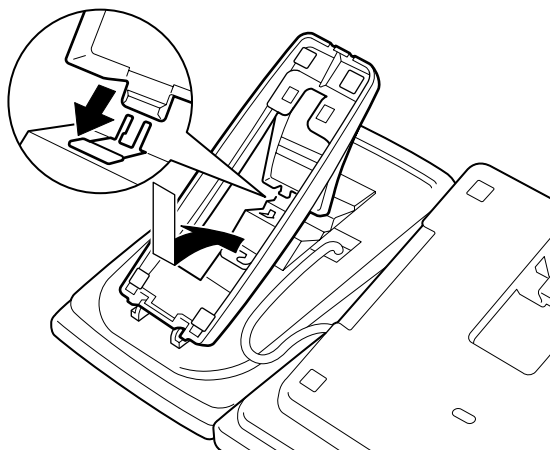
ナースコール通話機の50Pフラットケーブルを通話機の端子台基板上的コネクタに接続する。



通話機台の爪をナースコール通話機にはめ込んで取付ける。



ナースコール通話機と高さを合わせて各選局ユニットにもそれぞれ台を取付ける。



6 ボード形通話ユニット、パソコン連動通話機およびナースコール通話機のプログラム設定方法(親機番号、表示位置設定)

お願い

- ・中央制御装置でのプログラム設定完了後、必ず各親機毎に親機番号を決めて設定してください。
- ・設定完了後は電池スイッチ (SW1) を、必ずセット側にしてください。

1. 電池スイッチについて

- ・電池スイッチ (SW1) は設定後、必ずセット側 (上側) にしてください。(図1)
- ・親機の停電用電池 [BR2032 (3V用)] は7年に1回交換する必要があります。

(中央制御装置のAC100Vが切断された状態、もしくは中央制御装置のAC電源SWを切りとした状態で放置した場合は約6ヶ月以内に寿命となることがあります。)

(電池の交換方法)

図2のようにマイナスドライバーを差し込んで電池を持ち上げるようにして抜く。

図1
親機の背面図

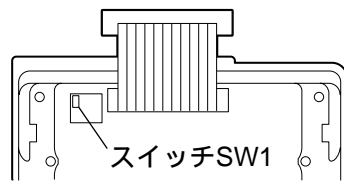
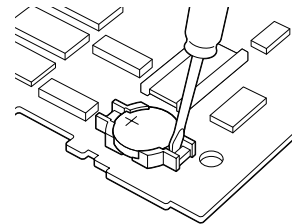
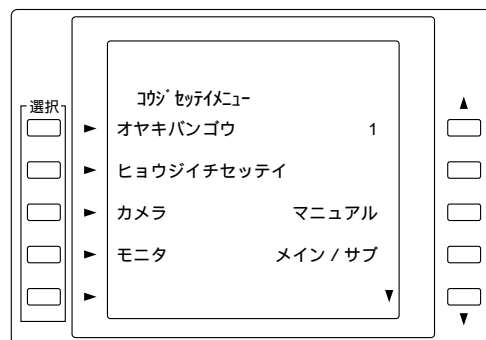


図2
親機の基板



2. プログラム設定モードへの入り方

- ・オンフック状態で **メニュー** ボタン (本体中央付近の左端のボタン) を5秒以上押す。
液晶画面に下記のように表示される (表示1)



VH-M481では、「ヒョウジイチセツテイ」の代わりに「RS232C」が表示されます。

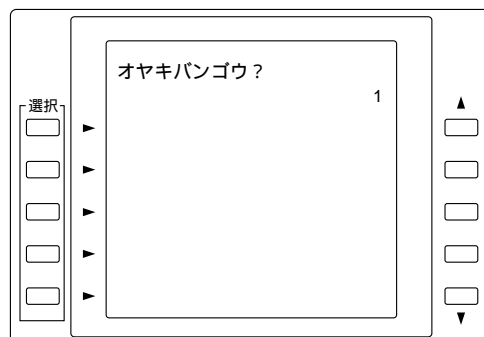
プログラム設定で映像伝送アダプター台数を設定し、かつ親機を映像連動しないと表示されません。

表示1

3. 親機番号の設定・変更方法

表示1 を表示中に “オヤキバンゴウ” と表示された左横の選択ボタンを押す。

下記内容が表示される (表示2)



表示2

表示 2 を表示中にテンキーを使用して 1 ~ 5 の範囲の親機番号を入力する。

液晶の最上桁の右端に入力した番号が表示される。

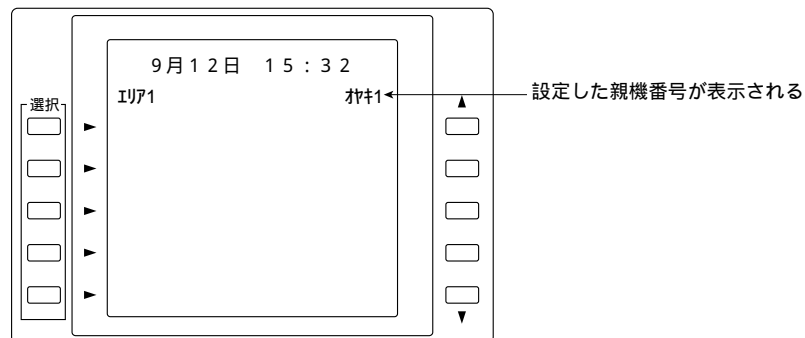
注) 誤った番号を押した場合は **クリア** ボタンを押し、再度番号を入力する。

呼出 ボタンを押すと **表示 3** となり、親機番号設定完了となる。

注) 1. 親機番号は必ず 1 から連番で設定する。(親機毎に設定する。)

2. 同一の番号は設定しない。(誤動作の原因になります。)

3. 親機の設置台数と中央制御装置のプログラムNo.1の親機設置台数設定とを一致させる。



表示 3

4. 表示位置の設定方法 (ベッド番号に該当する選局ユニットの表示位置を設定する)

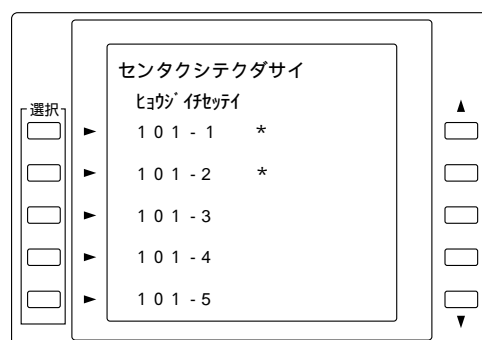
表示 1 を表示中に “ヒョウジイチセツテイ” と表示された左横の選択ボタンを押す。

1. 液晶画面に中央制御装置に登録されたベッド番号の一覧 (表示 4) が表示される。

2. 一覧表示中、既に選局ユニットの表示位置が設定されているベッド番号には「*」が表示される。

3. 選局ユニットでは、既に位置登録されているランプがすべて点滅する。

注) 中央制御装置にベッド番号を登録した後、本設定を行うこと。

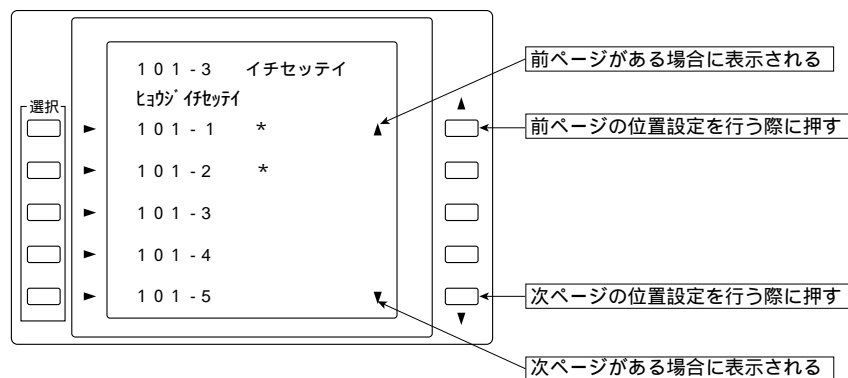


表示 4

設定するベッド番号を選択ボタンで選択する。

表示 5 のように液晶画面の最上段に選択したベッド番号が表示される。

注) 選局ユニットでは、選択したベッド番号が既に位置登録されていれば該当するランプが点灯する。



表示 5

選局ユニットの設定したい箇所の個別ボタンを押下する。

1. 液晶画面では該当するベッド番号の右横に「*」が表示される。

2. 選局ユニットでは、選択したランプが点滅する。

～ を繰り返す。(次ページへ移る場合は右側の一番下のボタン、前ページへは一番上のボタンを押す)

変更する場合は既に設定されているベッド番号を選択し(該当のランプが点灯)、変更後の個別ボタンを押下する。

削除する場合は、で該当するランプが点灯中に同じ個別ボタンを押下する。

1. 液晶画面に表示されている「*」が消える。

2. 選局ユニットでは、ランプが消灯する。

クリア ボタンの押下で、液晶画面表示、選局ユニット表示が工事設定メニュー(表示 1)の状態に戻る。(**クリア** ボタンを再度押すと工事設定から日付表示に戻ります。)

5. RS-232C の設定方法 (パソコン連動通話機の RS-232C 端子を使用する場合に設定する)

表示 1 を表示中に “RS232C” と表示された左横の選択ボタンを押す。

“RS232C ON” が表示される。(設定完了)

(選択ボタンを再度押すと OFF になります。)

6. 連動カメラの伝送設定方法 (親機に連動するカメラの映像伝送方法を設定する)

表示 1 を表示中に “カメラ マニュアル” と表示された左横の選択ボタンを押して設定する。

設定内容は以下の通り

カメラ マニュアル

: 病室側からの呼出に対して応答した後、

F4 キーを押すと親機側のカメラの映像が病室側へ伝送される。

カメラ オート

: 病室側からの呼出に対して応答したら自動で親機側のカメラの映像が病室側へ伝送される。

7. 連動モニターテレビの表示設定方法(親機と副親機で映像表示の優先順位を設定する)

表示 1 を表示中に “ モニタ メイン / サブ ” と表示された左横の選択ボタンを押して設定する。

設定内容は以下の通り

モニタ メイン / サブ : 病室側からの呼出に対して親機・副親機どちらで
応答してもモニターテレビの映像は表示される。

モニタ メイン : 病室側からの呼出に対して親機で応答した場合、
モニターテレビの映像は表示される。
副親機で応答した場合は映像は消える。

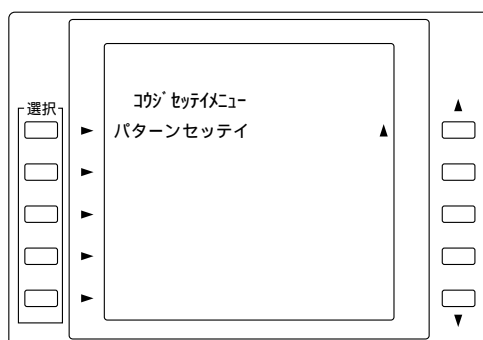
モニタ サブ : 病室側からの呼出に対して副親機で応答した場合、
モニターテレビの映像は表示される。
親機で応答した場合は映像は消える。

8. 呼出パターンの設定方法 (チームごとのグループ番号を設定する)

呼出パターンに、チームごとのグループ番号を設定します。運用で呼出パターンを選択すると、ここで設定したグループ番号に設定されます。

表示 1 の右下の次ページボタンを押す。

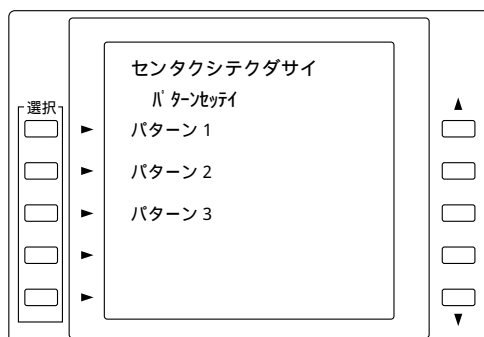
下記内容が表示される。(表示 6)



表示 6

表示 6 を表示中に “ パターンセッテイ ” と表示された左横の選択ボタンを押す。

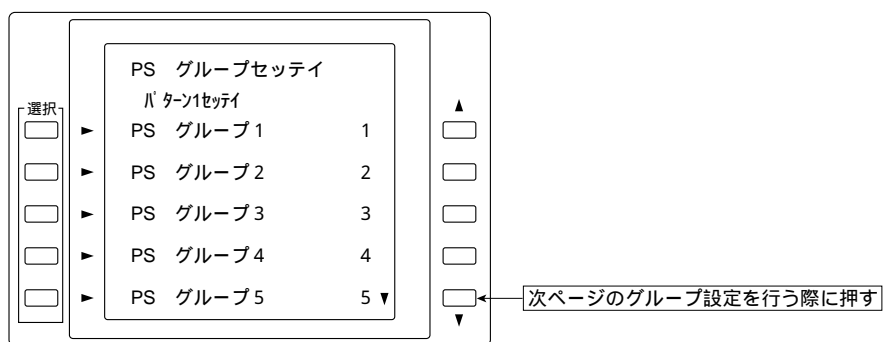
液晶画面にパターン番号の一覧 (表示 7) が表示される。



表示 7

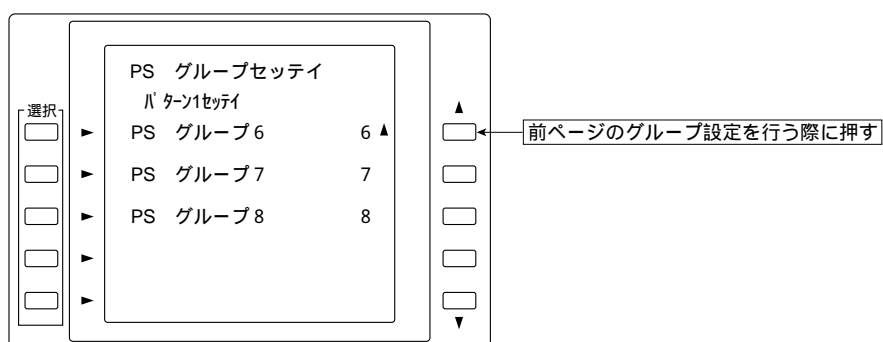
設定するパターン番号を選択ボタンで選択する。

1. 液晶画面に選択したパターンのPSグループ（表示8）が表示される。



表示 8

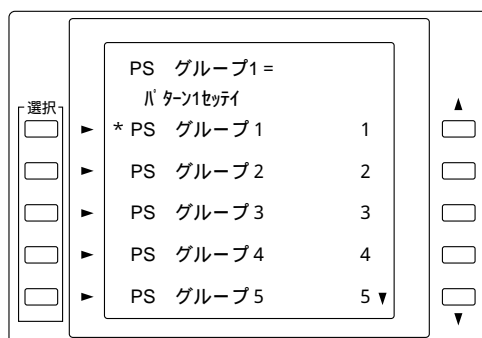
2. 右側の一番下のボタンを押すと次ページが表示される。（表示9）



表示 9

設定するPSグループ番号を選択ボタンで選択する。

表示10のように液晶画面の最上段に選択したPSグループ番号が表示される。



表示 10

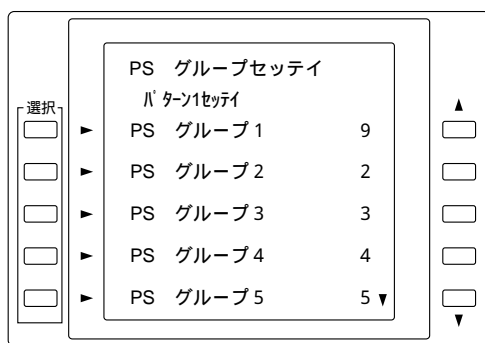
テンキーを使用して、1～64の範囲のPSグループ番号を入力する。

液晶画面の最上桁の右端に入力した番号が表示される。

注)・誤った番号を押した場合は「クリア」ボタンを押し、再度番号を入力する。

- ・必ず、PBX主装置に設定されるグループ番号を入力する。
- ・複数のチームに同じグループ番号を登録することができる。
(呼び出しを1つのグループに集中させたい場合など)

「呼出」ボタンを押すと「表示 11」となり、PSグループ番号設定完了となる。



表示 11

続けて設定する場合は ～ を繰り返す。

「クリア」ボタンの押下で、液晶画面表示が工事設定メニュー（表示 1）の状態に戻る。

(「クリア」ボタンを再度押すと工事設定から日付表示に戻ります。)

9. 設定内容の全消去方法（設定を最初からやり直す場合）

オンフック状態で「メニュー」ボタン（本体中央付近の左端のボタン）を5秒以上押す。

表示 1 となる。

“オヤキバンゴウ”と表示された左横の選択ボタンを押す。

表示 2 となる。

「メニュー」ボタン（本体中央付近の左端のボタン）を5秒以上押す。

下記表示となる。（表示 12）



表示 12

「呼出」ボタンを押す。

設定内容がすべてクリアされる。

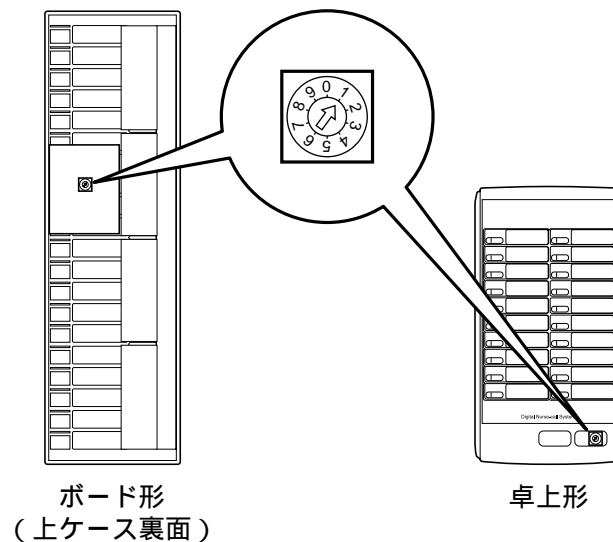
液晶画面が日付表示に戻る。

7 ボード形選局ユニット、および卓上形選局ユニットの番号設定方法(ダイヤルスイッチ)

(1) 概要

選局ユニットを使用するときは、必ず各々のユニットの番号をダイヤルスイッチによって、決定します。

ボード形選局ユニット、および卓上形選局ユニットのダイヤルスイッチは各々下図の位置となります。



(2) ダイヤルスイッチの設定方法

手順

ボード形選局ユニットは上ケースをはずし、卓上形選局ユニットはパネル下のカバーをはずし、ダイヤルスイッチを設定できるようにする。

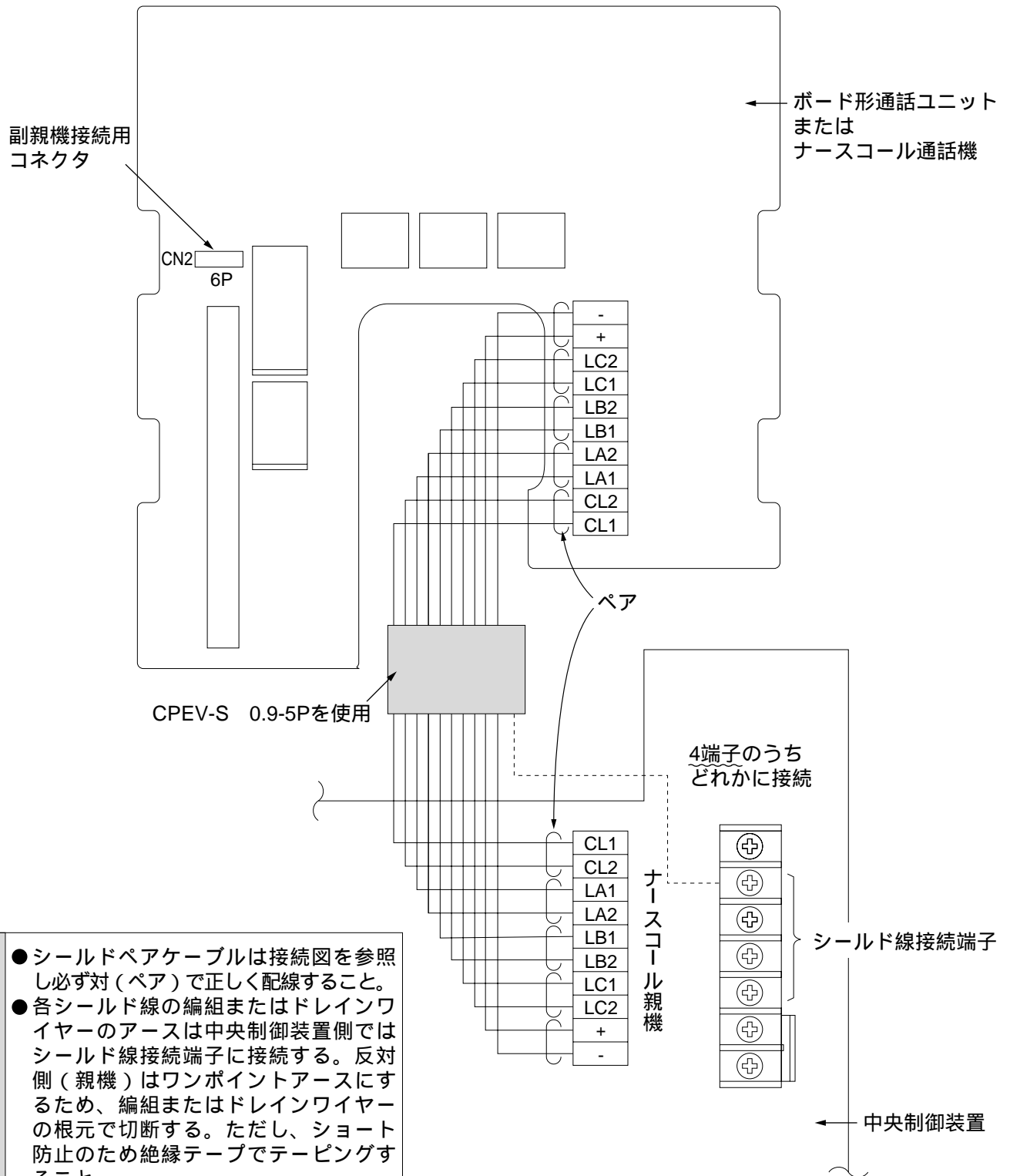
親機に接続した1台目のユニットのダイヤルスイッチを1に設定し、2台目のユニットは2に設定する。

増設した順番に3、4、5、6と設定する。

上ケース、またはカバーを戻す。

お願い	<ul style="list-style-type: none">・ダイヤルスイッチは親機に接続した順番に、必ず1から連番で設定してください。・ダイヤルスイッチは0から9までの番号がありますが、ユニットの増設は最大6台ですので0、7、8、9は未使用となります。
-----	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

8 ボード形通話ユニットまたはナースコール通話機と中央制御装置の接続方法



注意

- シールドペアケーブルは接続図を参照し必ず対（ペア）で正しく配線すること。
- 各シールド線の編組またはドレインワイヤーのアースは中央制御装置側ではシールド線接続端子に接続する。反対側（親機）はワンポイントアースにするため、編組またはドレインワイヤーの根元で切断する。ただし、ショート防止のため絶縁テープでテーピングすること。

9 システム診断方法

(1) 概要

システムに接続されている機器の通信が正常か否かを診断する機能です。中央制御装置のプログラム No13 の項目 No3 の設定値により動作が変わります。

プログラム No13 の項目 No3 が 0 : 確認 LED 点灯なしの場合 (出荷時状態の場合) 通信異常が発生しても親機の確認 LED を点灯させないモードです。

プログラム No13 の項目 No3 が 1 : 確認 LED 点灯ありの場合

一度でも通信異常が発生すると、その機器を記憶し親機の確認 LED を点灯させるモードです。

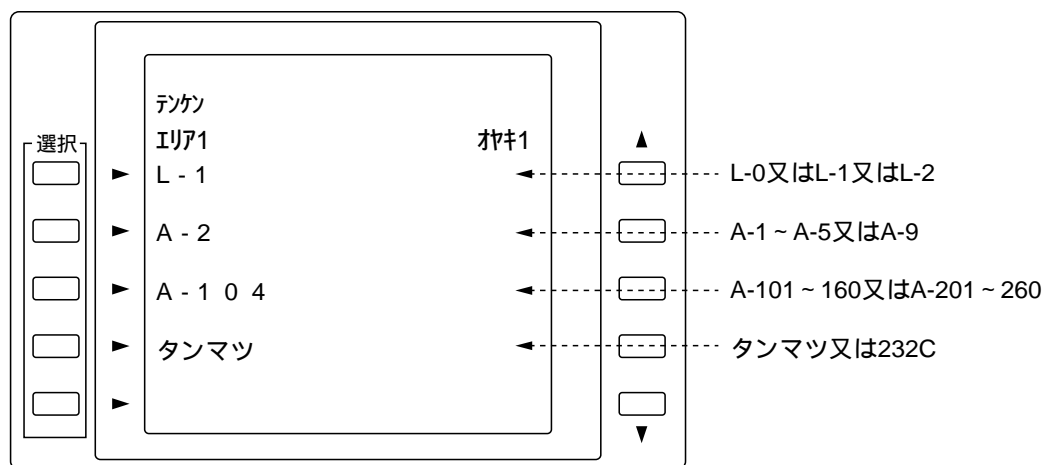
(2) システム診断方法

確認 LED 点灯なしの場合 (通常はこの状態で使用します。)

親機をオンフック状態とし [点検] ボタンを押します。

下記のように液晶に通信異常機器が表示される。

(通信異常がない場合は液晶中央に “イジョウ ナシ” と表示されます。)



注)各表示毎に複数の通信異常が発生している場合は、液晶表示左横の選択ボタンを押すことで次の通信異常機器の表示を行う。

(1) 液晶 3 行目の表示について

各表示毎に以下の原因が考えられます。

L - 0 : 本親機と中央制御装置間の通信異常です。この場合、親機もしくは中央制御装置の回路や、その間の配線に異常があります。

L - 1 : LC カードの通信異常です。

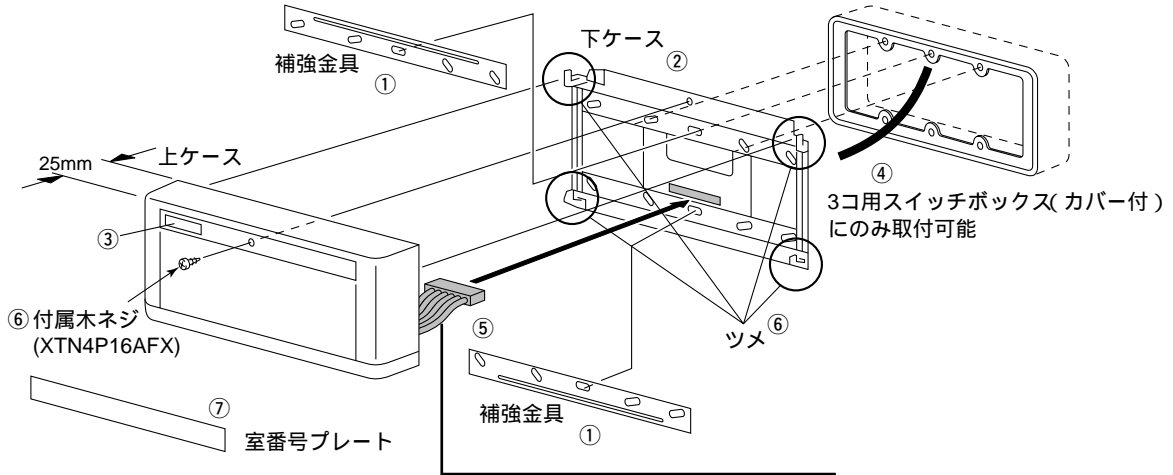
L - 2 : LC カードの通信異常です。ただし、1LC カードを設置しているにも関わらず表示された場合は中央制御装置のプログラム No4 を誤って “0” 以外に設定している可能性があります。

(1LC カードの場合は必ず “0” と設定してください。)

10 アダプターの取付

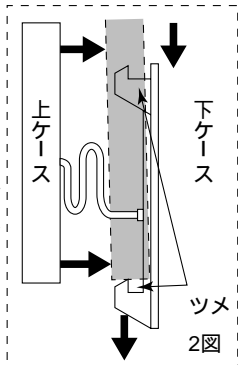
1. 取付方法

1-1 病室アダプター (VH-R680/1 ~ 6, R680T/1 ~ 6)、トイレアダプター (VH-R681) の場合
 (例) 3床用病室アダプター (VH-R680/3) の場合



手順

- ① 付属の補強金具を下ケース凹部に貼り付ける。
- ② 下ケースを3コ用スイッチボックス(カバー付)に取付ける。
- ③ 上ケースの室番号プレートをはずし、アダプター番号等の設定(64ページ参照)を行う。
- ④ 線材を端子へ接続する。
- ⑤ ・上ケースからのコネクターコードを下ケースのコネクターへ確実に挿入すること。(1図参照)
 ・コネクターコードを折り曲げ下ケース側のボックスに収納させる。
- ⑥ 上ケースを下ケースのツメ(4ヶ所)にひっかけて取付け、付属木ねじ(1本)で止める。(2図参照)
- ⑦ 室番号プレートを取付ける。

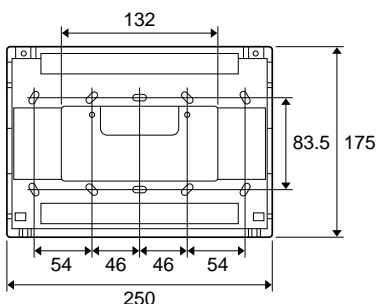


コネクターの接続手順 (1図)	
1. コネクター受けのツメ (両方) を開ける (矢印の方向に)	
2. コネクターコード側のコネクターを強く確実に挿入する	
3. コネクター受けのツメ (両方) を閉じる (矢印の方向に)	

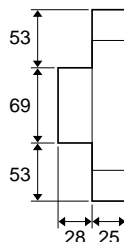
(1) 取付穴寸法 (単位: mm)

機種	該当 JIS 用スイッチボックス
VH-R680/1 ~ 3 VH-R680T/1 ~ 3 VH-R681	3コ用スイッチボックス (カバー付き)
VH-R680/4, 6 VH-R680T/4, 6	5コ用スイッチボックス (カバー付き)

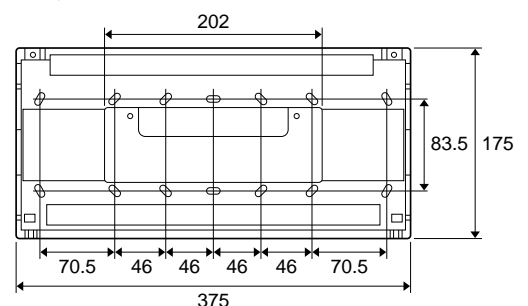
VH-R680/1 ~ 3、VH-R680T/1 ~ 3、VH-R681 の場合



側面図



VH-R680/4, 6、VH-R680T/4, 6 の場合



1-2 映像伝送アダプター (VH-R900D) の場合

1. 壁に直接取り付ける

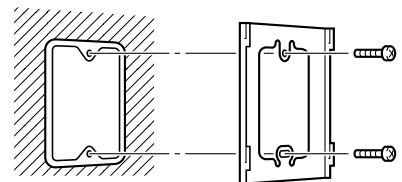
本体付属の壁掛用品を使用する場合

壁掛用品を壁面に取付ける

(JIS 1 個用スイッチボックスに取付ける場合)

壁掛用品を付属の小ネジでスイッチボックスに固定します。

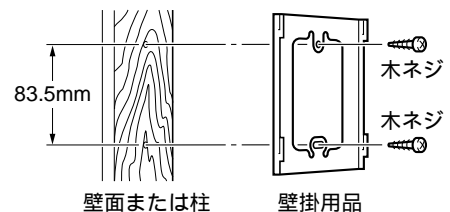
1 個用スイッチボックスカバーなしと小形 1 個用スイッチボックスには取付けられません



1個用スイッチボックス
カバー付き (縦方向) 壁掛用品

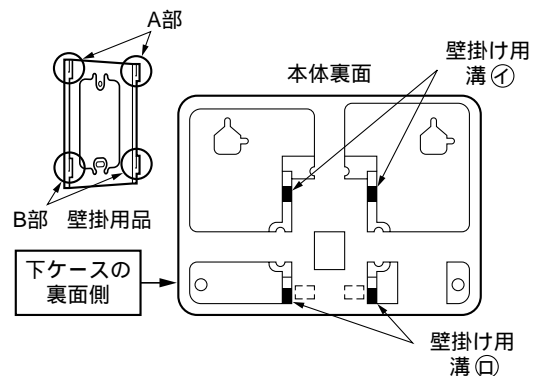
(壁面または柱に取り付ける場合)

取付けようとする位置の中心を合わせ、付属の木ネジで取付ける

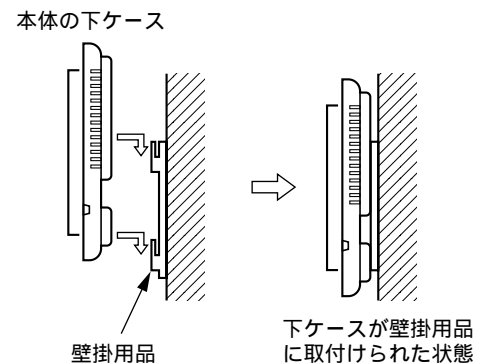


83.5mm 壁面または柱 壁掛用品

本体の裏面の壁掛用溝 ㊦と㊧に壁掛用品㊨と㊩をはめ込む



本体を壁に押しつけながら、下方へ強く押し込む



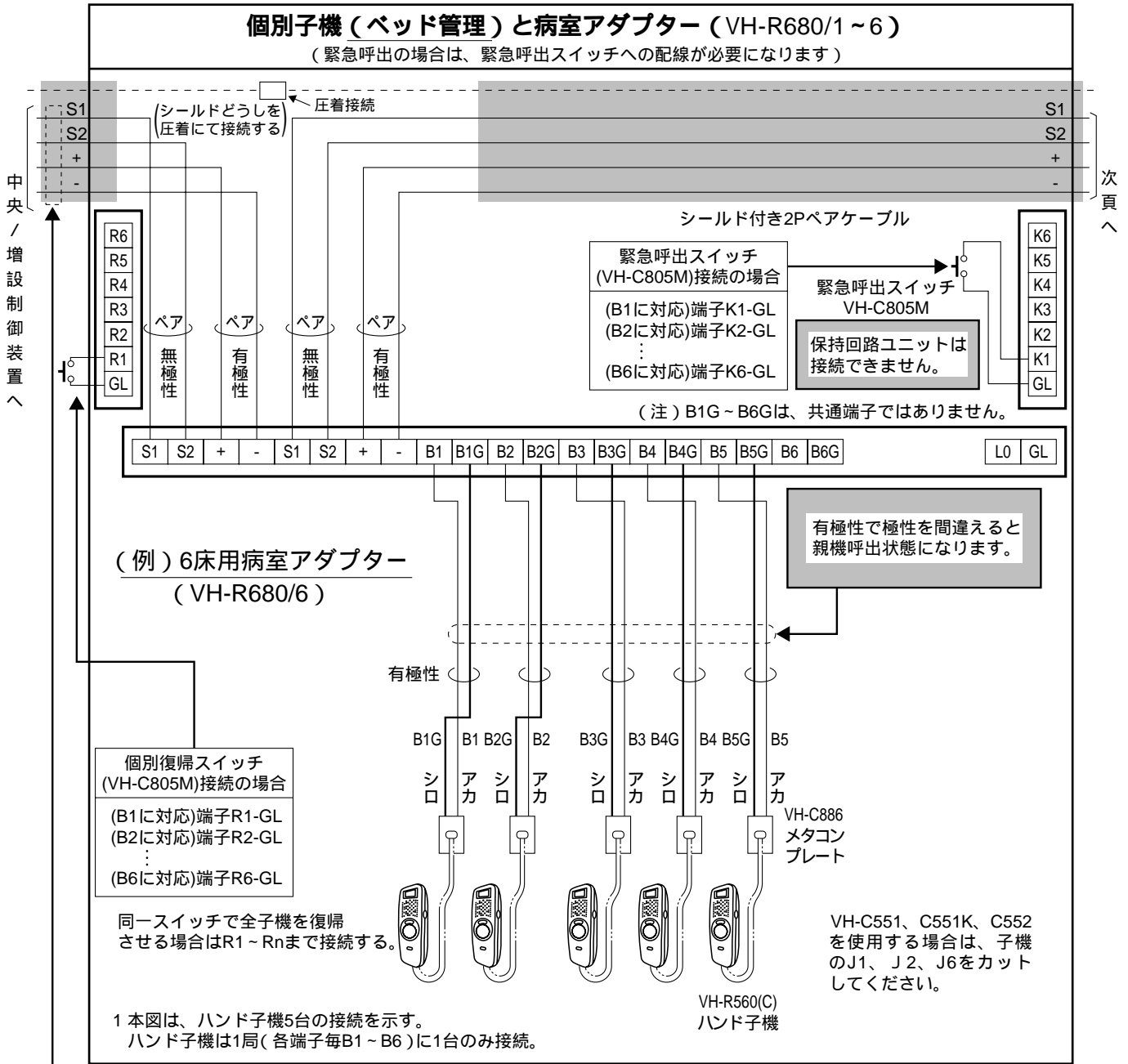
壁掛用品 下ケースが壁掛用品に取付けられた状態

アダプター (病室アダプター、トイレアダプター、映像伝送アダプター) 取付け時のご注意

浴室等に押ボタン等を設置される場合、配管を通して蒸気が機器にあたらないよう配管をふさぐなどしてください。

2. 機器間の配線 (例: ベッド管理)

お知らせ 病室アダプターは、1分岐(2P)合計最大20台まで(容量上)。これ以上接続する場合は、中央/増設制御装置より別分岐(2P)で配線してください。(最大3分岐まで)



線種による配線距離

・シールド付きツイストペアケーブル(CPEV-S線)をご使用ください。

(誤動作防止)

+と-	ペアに
S1とS2	すること

・線種と距離

線種	0.9
距離	200m以内

お知らせ

CPEVツイストペア線とよく似た電線でCPEVカッド線があります。(下図参照) この電線は使用できませんので必ずシールド付きCPEVツイストペア線をご使用ください。

ツイストペア線



カッド線



配線時の注意事項

工注1

端子番号(B1~B6)の内空きがある場合は、空き番号に対応する脱落警報停止スイッチ(SW5)を「ON側」にしてください。(64ページ参照)

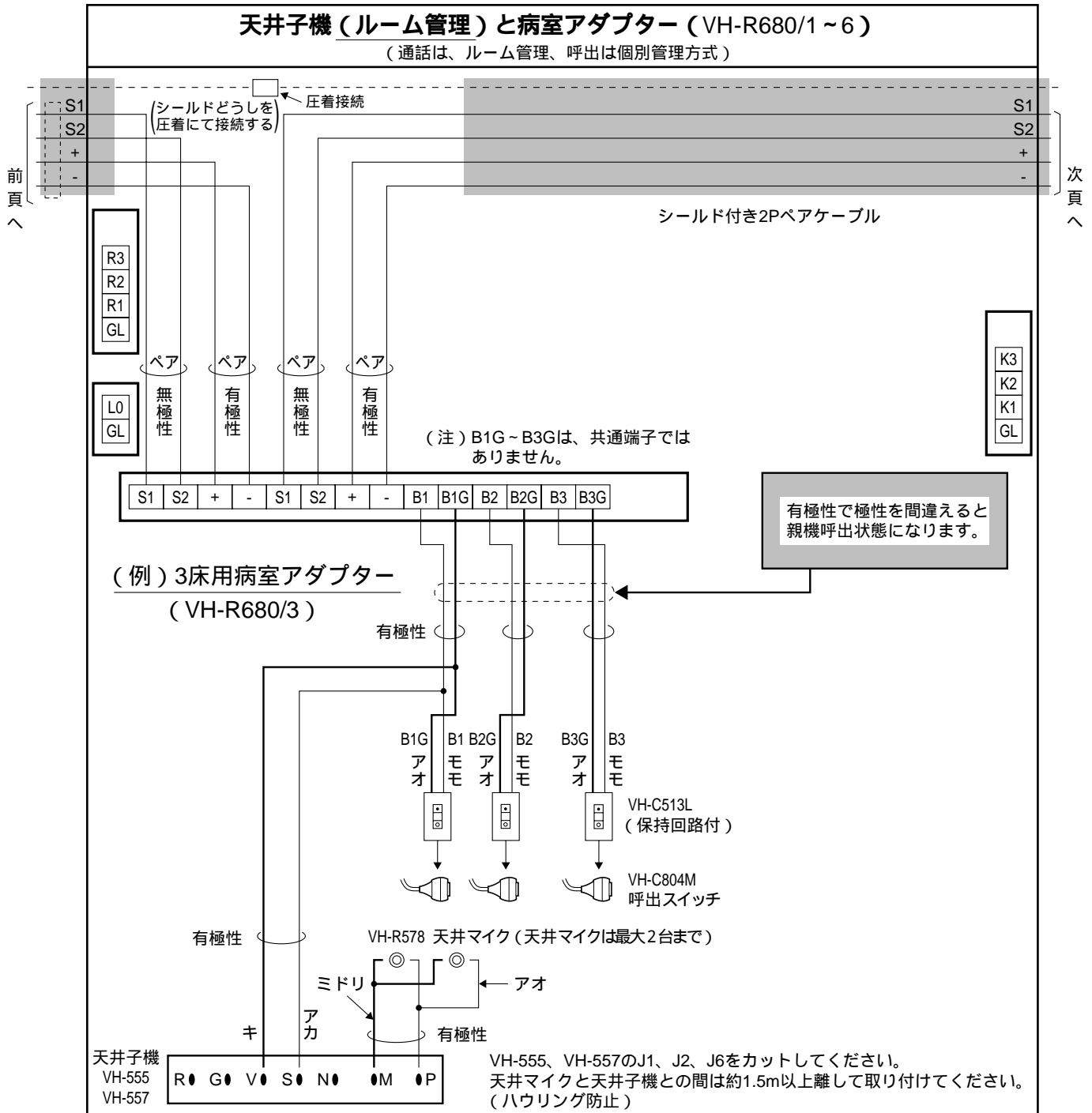
設定をしなかった場合は、親機に子機脱落警報が上がります。

お知らせ(設定)

・ベッド管理又は、ルーム管理は設定が必要です。ベッド管理の場合は、設定スイッチSW5-9を「OFF側」にする。(64ページ参照)

3. 機器間の配線（例：ルーム管理で呼出しは個別の場合）

お知らせ 病室アダプターは、1分岐（2P）合計最大20台まで（容量上）。
これ以上接続する場合は、中央/増設制御装置より別分岐（2P）で配線してください。（最大3分岐まで）



配線時の注意事項

工注1 端子番号（B1～B3）の内で空きがある場合は、空き番号に対応する脱落警報停止スイッチ（SW5）を「ON側」にしてください。（64ページ参照）

↓

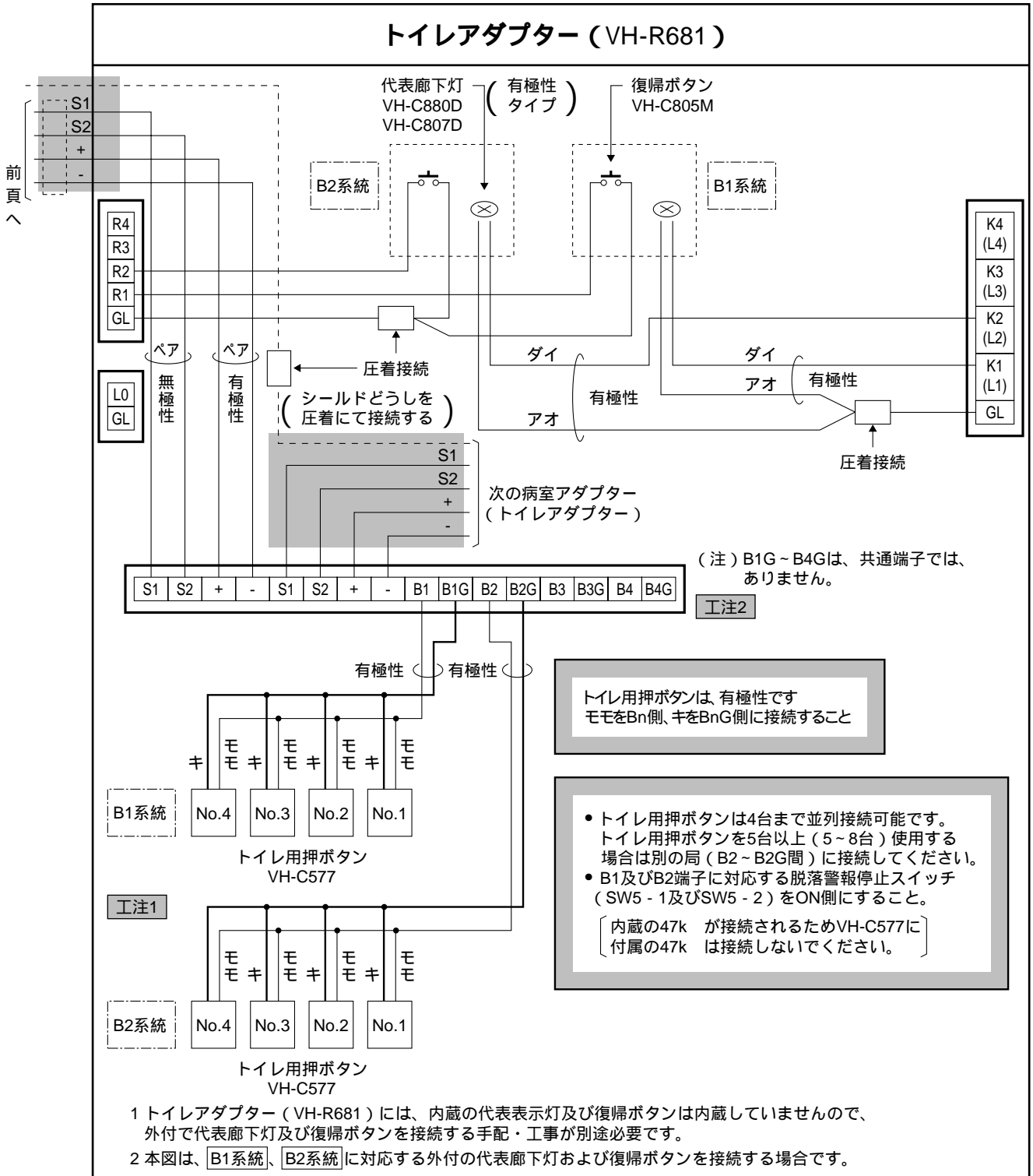
設定をしなかった場合は、親機に子機脱落警報が上がります。

お知らせ（設定）

- ・ ルーム管理又は、ベッド管理は設定が必要です。
ルーム管理の場合は、設定スイッチSW5-9を「ON側」にする。（64ページ参照）

4. 機器間の配線 (例: トイレアダプター)

お知らせ トイレアダプターは、1分岐 (2P) 合計最大20台まで (容量上)。
これ以上接続する場合は、中央/増設制御装置より別分岐 (2P) を配線してください。(最大3分岐まで)



配線時の注意事項

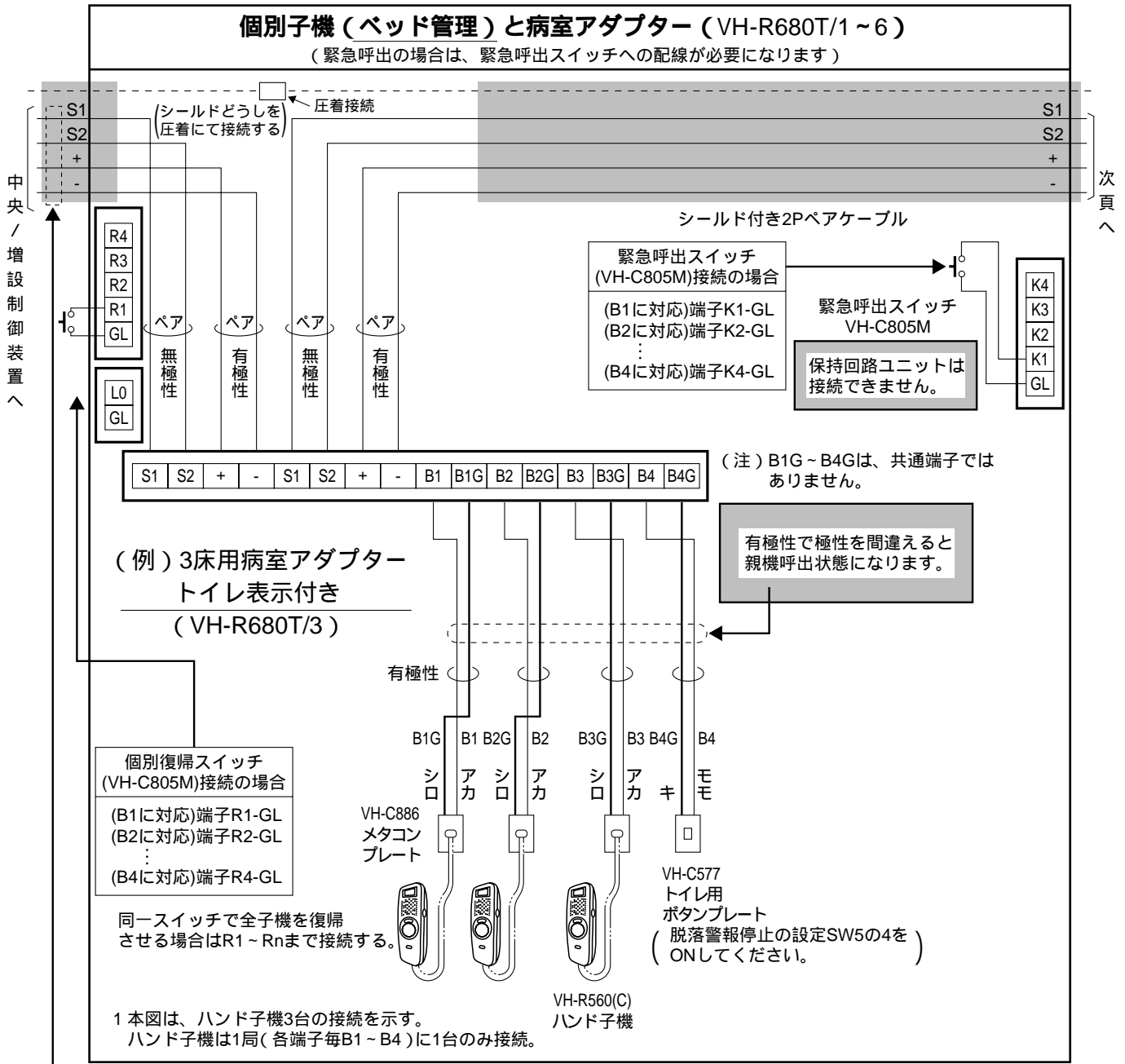
工注1 トイレ用押ボタン (VH-C577) 接続時は端子番号 (B1~B4) 毎に、脱落警報停止スイッチ (SW5) を「ON側」にしてください。(内蔵の47k が接続されるため付属の47k は接続しないでください。)

工注2 端子番号 (B1~B4) の内で空きがある場合は、空き番号に対応する脱落警報停止スイッチ (SW5) を「ON側」にしてください。(64ページ参照)

↓
工注1、**工注2** の設定をしなかった場合は、親機に子機脱落警報が上がります。

5. 機器間の配線 (例: 病室アダプタートイレ表示付き)

お知らせ 病室アダプターは、1分岐(2P)合計最大20台まで(容量上)これ以上接続する場合は、中央/増設制御装置より別分岐(2P)で配線してください。(最大3分岐まで)



注意

上記のような3床用の病室アダプタートイレ表示付きの場合は4床目がトイレ用になります。
したがって中央制御装置での床数設定(プログラムNo101~160及び201~260の子機接続台数)を"4"と設定します。
(同様にn床用の場合は(n+1)床目がトイレ用になります。)

配線時の注意事項

工注1 端子番号(B1~B4)の内空きがある場合は、空き番号に対応する脱落警報停止スイッチ(SW5)を「ON側」にしてください。(64ページ参照)

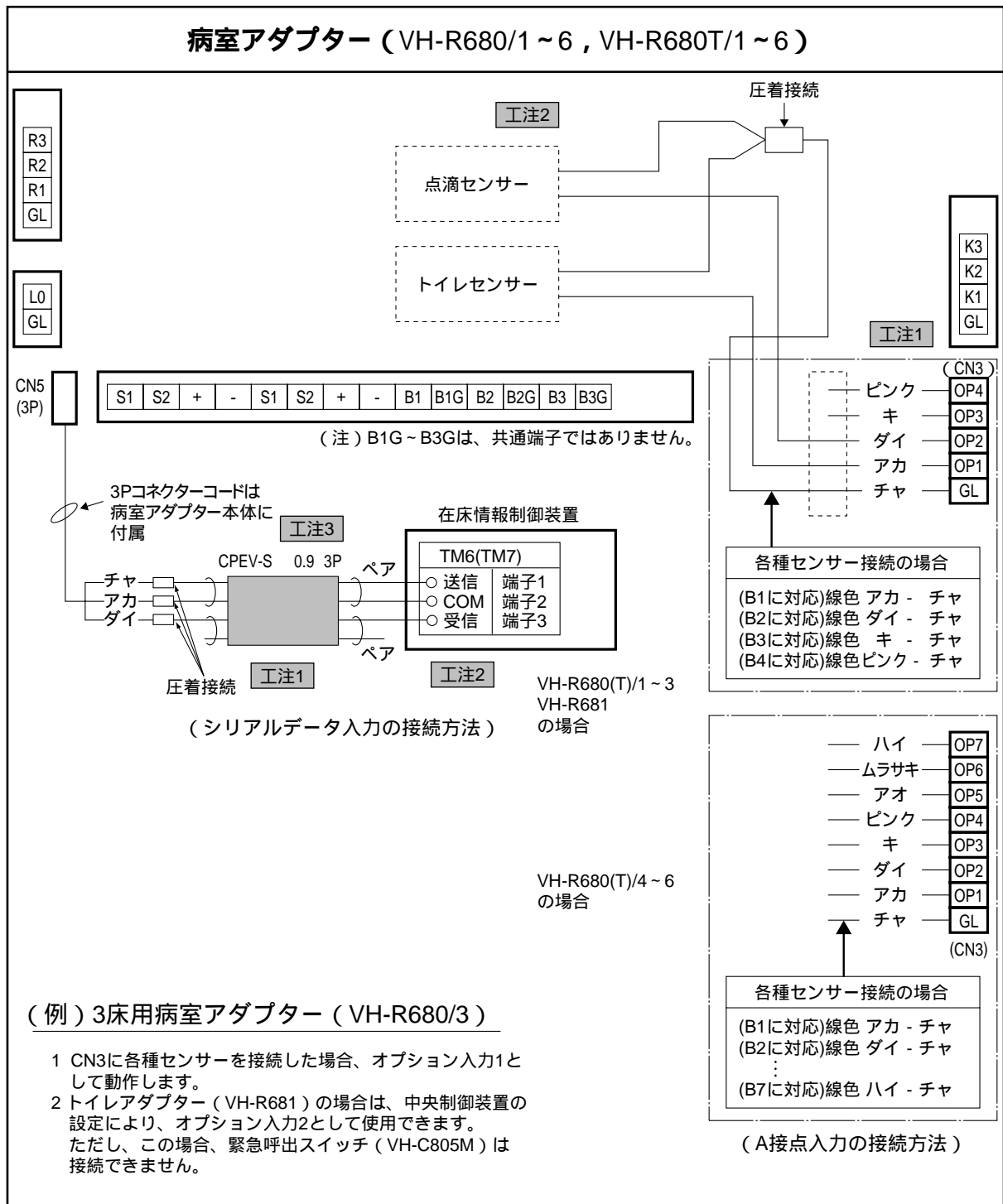


設定をしなかった場合は、親機に子機脱落警報が上がります。

お知らせ(設定)

・ベッド管理又は、ルーム管理は設定が必要です。
ベッド管理の場合は、設定スイッチSW5-9を「OFF側」にする。(64ページ参照)

6. 機器間の配線（例：センサー接続時）



配線時の注意事項

工注1 使用しない線材の先端は、絶縁テープ等で他と接触しないように処理をしてください。（誤動作防止のため）

工注2 詳細は使用する各種センサーの工事説明書を参照してください。

工注3 シールド付きツイストペアケーブル（CPEV-S線）をご使用ください。（誤動作防止のため）

・ペア組み

送信とCOM	ペアに
受信	すること

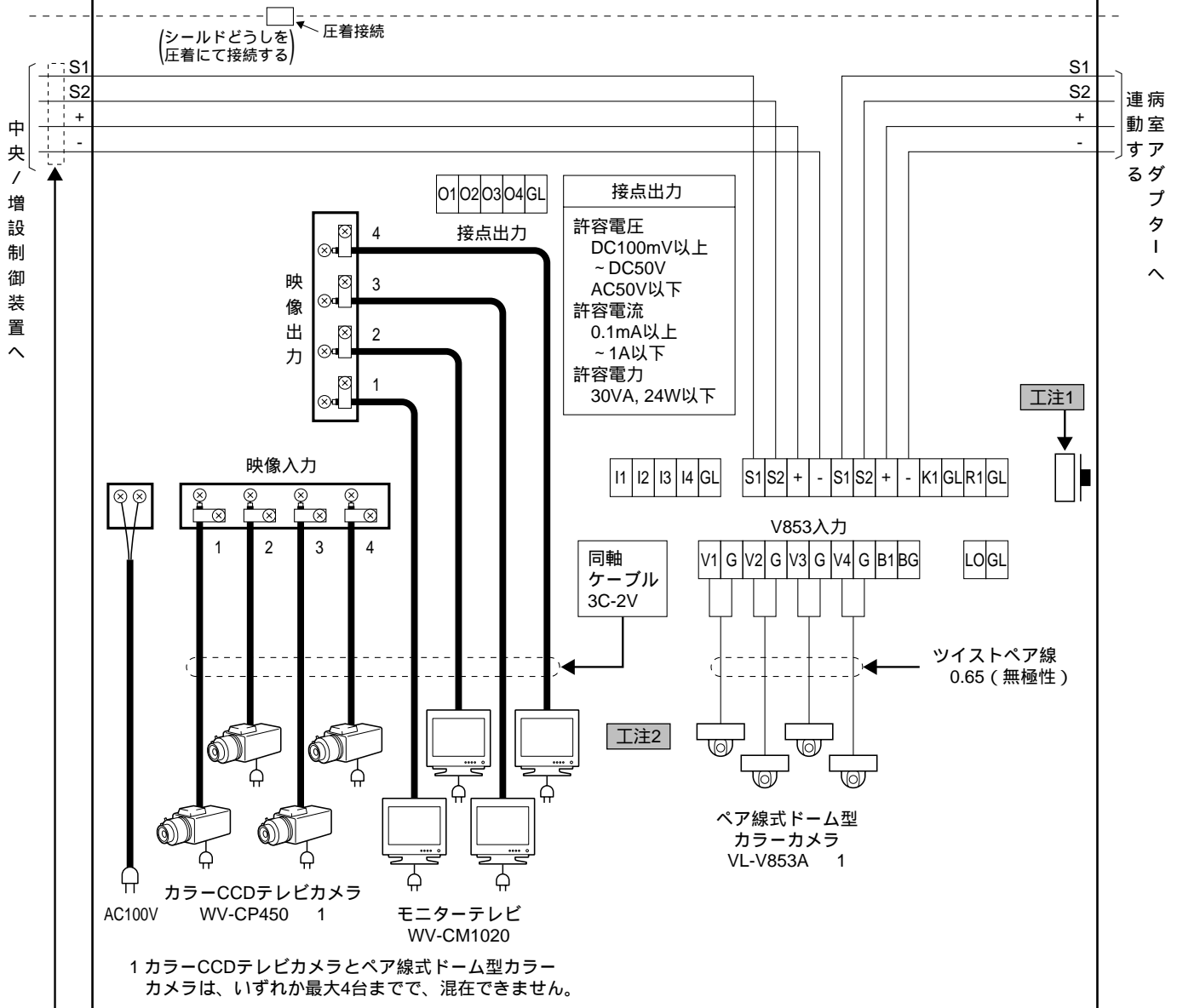
・線種と距離

線種	0.9
距離	20m以内

7. 機器間の配線（例：映像伝送アダプター：連動）

お知らせ 映像伝送アダプターと病室アダプターは、1分岐（2P）合計最大20台まで（容量上）。これ以上接続する場合は、中央/増設制御装置より別分岐（2P）で配線してください。（最大3分岐まで）

映像伝送アダプター（VH-R900D）と病室アダプター（VH-R680/1~4）連動の場合



線種による配線距離

・ シールド付きツイストペアケーブル(CPEV-S線)をご使用ください。

(誤動作防止)

+	-
S1	S2

ペアにすること

・ 線種と距離

線種	0.9
距離	200m以内

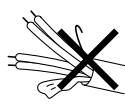
お知らせ

CPEVツイストペア線とよく似た電線でCPEVカッド線があります。(下図参照) この電線は使用できませんので必ずシールド付きCPEVツイストペア線をご使用ください。

ツイストペア線



カッド線



配線時の注意事項

工注1 子機 (B1~BG) を接続しない場合は、脱着警報停止スイッチ (SW5) を「ON側」にしてください。(64ページ参照)

↓
設定をしなかった場合は、親機に子機脱着警報が上がります。

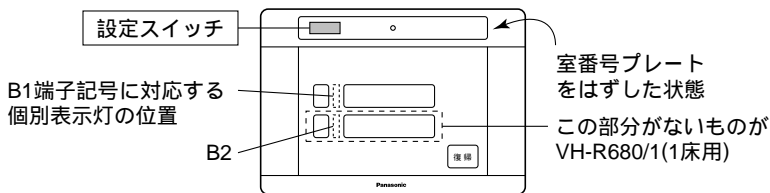
映像受信時の注意事項

工注2 映像を受信してモニターテレビに映す場合は、別売の映像受信カード (VH-R901D) を装着する必要があります。装着方法は映像受信カード (VH-R901D) の工事説明書を参照してください。(64ページ参照)

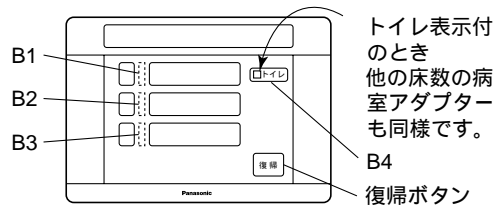
9. 端子記号と個別表示灯の位置関係

病室アダプター[VH-R680/1(1床用)~ VH-R680/6(6床用)]の端子記号(B1~B6)は、下図個別表示灯の配列に対応しています。

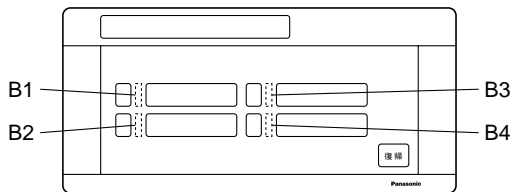
VH-R680/1(1床用) / VH-R680/2(2床用)



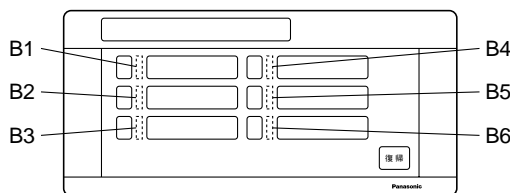
VH-R680/3(3床用)



VH-R680/4(4床用)



VH-R680/6(6床用)



お知らせ 室番号プレートを横にスライドさせてははずと 設定スイッチ があります。

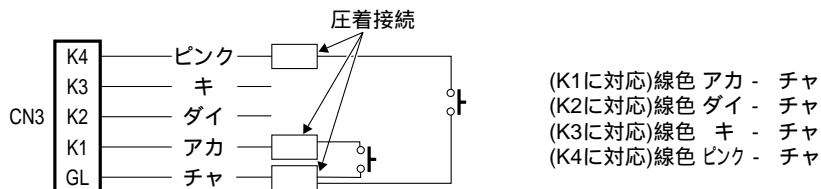
VH-R680/1 ~ 6, VH-R680T/1 ~ 6, VH-R681 の速結端子について

)...接続可能 ×...接続不可(端子なしです)

機種	速結端子記号	子機用						リセット(復帰)用							病室アダプターの場合は緊急呼出用(K1~K6)となりトイレアダプターの場合はL1~L4は代表廊下灯用となる								
		B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	(L1)K1	(L2)K2	(L3)K3	(L4)K4	K5	K6	K7	
病室アダプター 1、2、3床用	VH-R680/1		×	×	×				×	×	×						×	×	×				
	VH-R680/2, VH-R680T/1			×	×					×	×							×	×				
	VH-R680/3, VH-R680T/2				×						×								×				
	VH-R680T/3											×										×	
病室アダプター 4、6床用	VH-R680/4					×	×	×					×	×	×						×	×	×
	VH-R680T/4							×	×				×	×								×	×
	VH-R680/6										×				×								×
	VH-R680T/6																						×
トイレアダプター	VH-R681																						

印は、トイレアダプター(VH-R681)の場合のみL1~L4となり個別廊下表示灯(代表廊下灯)を接続する端子となります。(K1~K4)緊急呼出スイッチとして使用できません。

緊急呼出スイッチを使用する場合は、5ピンの線付コネクタ(付属品)をCN3へ下記のように接続してください。ただし、保持回路ユニットは、接続できません。



(注) ケースの大きさは.....
 • VH-R680(T)/1、2、3 と VH-R681 は同じ大きさです。
 • VH-R680(T)/4、6 は同じ大きさです。

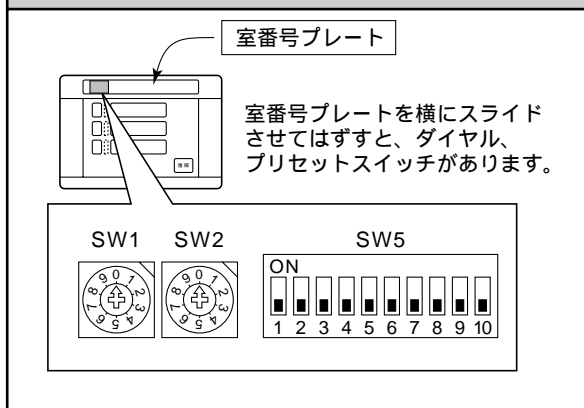
10. アダプター番号、脱落警報停止、ベッド/ルーム管理および通話後の自動復帰の設定方法

病室アダプター（VH-R680/1～6）、トイレ表示付（VH-R680T/1～6）、トイレアダプター（VH-R681）および映像伝送アダプター（VH-R900D）の端子番号（B1～B7）の内で空きがある場合は、空きに対応する脱落警報停止スイッチを「ON側」にしておくこと。

「OFF側」の場合、中央/増設制御装置の電源を入れたとき、親機側に脱落警報音が鳴り続け選局ランプが点滅します。（音はプログラム No.13-1 を「1」に設定している場合に鳴ります。）
点滅している選局ランプの選局ボタンを押すと脱落警報音が停止します。（選局ランプは点滅を継続）

アダプター番号の設定が他の病室アダプター、トイレアダプターおよび映像伝送アダプターと重複しないこと。（誤動作の原因になります）

スイッチ拡大図（出荷時状態）



（アダプター番号設定例）

アダプター番号はSW1で上位1桁、SW2で下位1桁を設定する。（01～60の範囲内）

アダプター番号	SW1（上位1桁目）	SW2（下位1桁目）
（例）1番	0	1
（例）35番	3	5

お願い

アダプター番号の設定および変更は、中央制御装置の電源は「切」の状態にしてください。設定又は、変更後に電源を「入」にしアダプター番号の読み込動作をさせます。

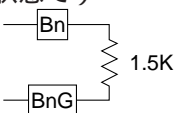
	スイッチ番号	ON側	OFF側	出荷時
脱落警報停止の設定	SW5 1～8	内蔵の47k がB(1～8) - B(1～8)G間に接続される。	内蔵の47k が未接続となる。	1～8 OFF側
		下記機種を接続する場合は、ON側にしてください。 （該当機種は、回路上脱落検出抵抗(47k)が未実装です。） VH-C577, VH-C522, VH-C513L, VH-5411X等 (注)別途47k が付属されていますが、B-G端子間に接続しないでください。 (47k が重複し、呼出状態になります。)	下記機種を接続する場合は、OFF側にしてください。 （該当機種は、回路上脱落検出抵抗(47k)が実装されています。） VH-R560(C), VH-555, VH-557, VH-C551(K), VH-C552等	
		また、空き端子が生じる場合はON側にしてください。		
ベッド/ルーム管理の設定	SW5 9	ルーム管理	ベッド管理	OFF側
親機との通話後の自動復帰設定	SW5 10	通話後の自動復帰禁止	通話後の自動復帰有効	OFF側

11. 配線工事完了時の点検方法と診断方法

中央 / 増設制御装置と病室アダプター間を誤配線すると病室アダプターが瞬時に破壊されます。十分に配線を確認した後、制御装置の電源を入れてください。

(制御装置の +、 - 間にテスターを接続し、導通している場合は、配線誤りの病室アダプターがあります。(テスターの +、 - を入れ替えどちらも導通している場合))

(1) 設置工事時に発生しやすいトラブル例

故障症状	点検方法	主な原因
特定の子機から呼出した時親機側に呼出音が鳴らない。(選局ランプ点滅しない)	<ul style="list-style-type: none"> 病室アダプター，トイレアダプターで該当の Bn - BnG 間を抵抗 (1.5k) で短絡したとき鳴るか。(各 Bn - BnG 間に子機接続状態で)  <p>(1.5k は子機呼出時の等価抵抗)</p>	<p>鳴る</p> <ul style="list-style-type: none"> 病室アダプター，トイレアダプターから子機までの配線不良 <p>鳴らない</p> <ul style="list-style-type: none"> 該当する病室アダプター，トイレアダプターの子機が中央制御装置で未設定 中央 / 増設制御装置の電源 ON のまま病室アダプター，トイレアダプターの番号を変えていないか。(電源のスイッチを OFF ON させる)
親機側で特定の選局ランプが点滅し脱落警報音が鳴りっぱなし。	<ul style="list-style-type: none"> 該当する病室アダプター，トイレアダプターの接続端子 (各 Bn - BnG 間) をチェックする。 	<ul style="list-style-type: none"> 病室アダプター，トイレアダプター端子番号 (B1 ~ B8) の内で空き端子に対して脱落警報停止スイッチが OFF のままである。

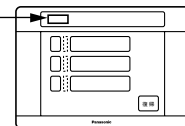
(2) 子機からの呼出ができない場合の診断

原因	診断方法 (病室アダプター，トイレアダプター)
アダプター番号読み込み不良	全番号設定終了後、中央 / 増設制御装置の電源を OFF ON させる。
電源不良	<ul style="list-style-type: none"> + ~ - 間をチェックする。 待受時 18 ~ 30V 呼出時 18 ~ 30V

(3) 病室アダプター / トイレアダプターのランプ (LED) の確認

緑色のLED...

- 正常時はゆっくり点滅 (1秒ON / 1秒OFF)
- CPU異常時は点灯または消灯
- 通信異常時は高速点滅 (0.15秒ON / 0.15秒OFF、もしくは0.15秒ON / 0.15秒OFF / 0.15秒ON / 1.95秒OFF)



室番号プレートを横にスライドさせてはずします。

(4) 接続端子の機能

+	病室アダプター，トイレアダプターの電源 (DC30V) と一斉放送音声信号
-	電源グランド
S1	通話およびデータライン.....無極性
S2	(中央 / 増設制御装置 病室アダプター，トイレアダプターの双方向)

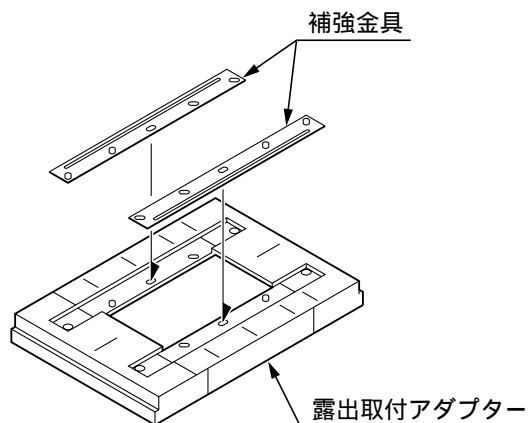
12. 露出取付方法

露出取付時は別売の露出取付アダプター (VH-Y670) が必要です。

手順

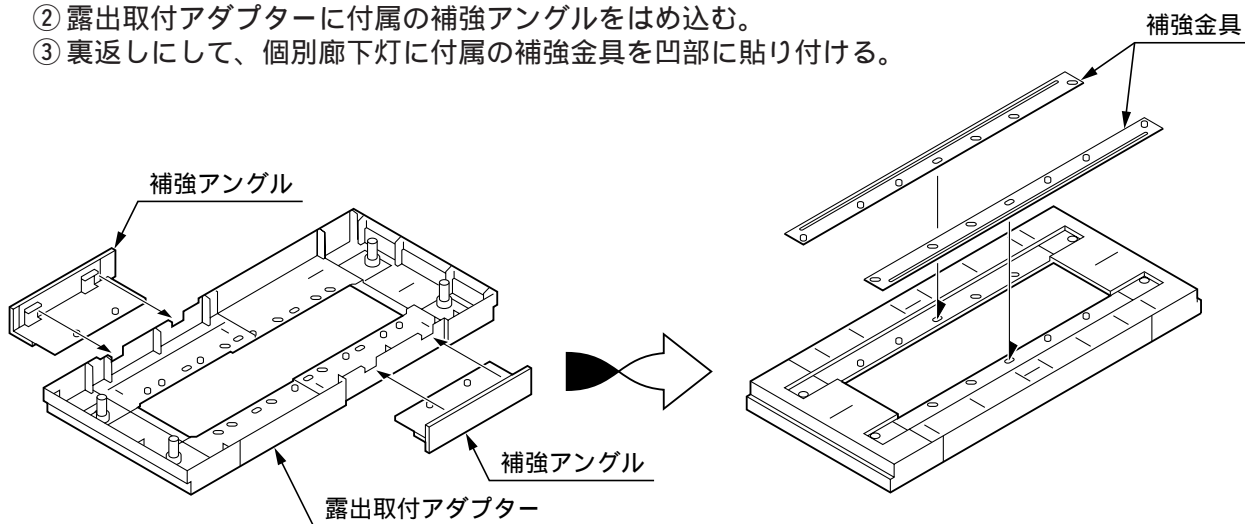
(1) 補強金具を取り付ける。

3床用病室アダプター (VH-R680/3) の場合
露出取付アダプター (VH-Y670 別売) を裏返し、個別廊下灯に付属の補強金具を凹部に貼り付ける。



6床用病室アダプター (VH-R680/6) の場合

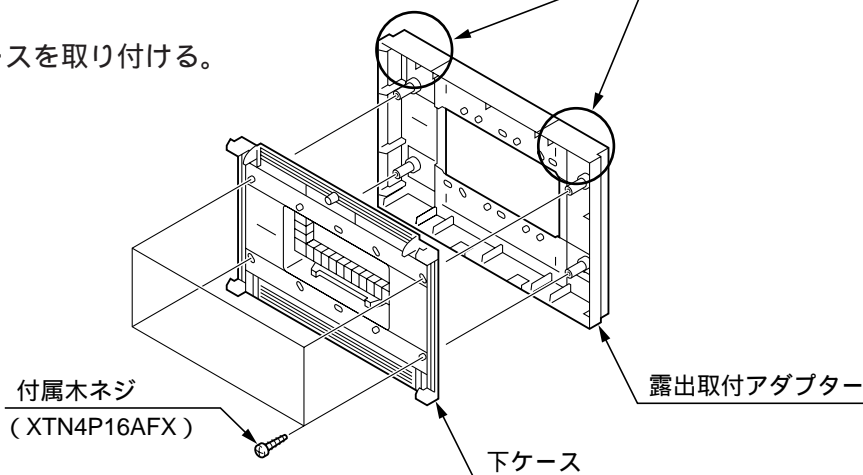
- ① 露出取付アダプター (VH-Y670 別売) を広げる。
- ② 露出取付アダプターに付属の補強アングルをはめ込む。
- ③ 裏返しにして、個別廊下灯に付属の補強金具を凹部に貼り付ける。



(2) 壁に取り付ける。(取付穴寸法は54ページと同様)
不安定なときは、四隅をネジで止める。

露出配線時はロックアウトを切断し使用する

(3) 下ケースを取り付ける。



松下電器産業株式会社

松下通信工業株式会社 セキュリティ&セーフティ事業部

〒224-8539 横浜市都筑区佐江戸町600番地 電話(045)932-1231(大代表)

C8QA5081FN